



# SOMPO ホールディングス

安心・安全・健康のテーマパーク

## 2019年度中間期決算説明資料

2019年11月19日

SOMPOホールディングス株式会社



# 目次

業績ハイライト(2019年度中間期)	2	(参考)国内自然災害	26
<b>1. 連結業績</b>		(参考)責任準備金・支払備金	27
2019年度中間期決算概況(連結)	4	<b>3. 海外保険事業</b>	
決算のポイント① 保険引受利益(損保ジャパン日本興亜)	5	業績概況(海外保険事業)	29
決算のポイント② 資産運用粗利益(損保ジャパン日本興亜)	6	(参考)地域別業績	30
決算のポイント③ 連結経常利益	7	(参考)グループ会社別業績	31
決算のポイント④ 連結純利益	8	(参考)SI業績概況①	32
2019年度通期業績予想(連結)	9	(参考)SI業績概況②	33
通期業績予想修正のポイント	10	<b>4. 国内生保事業</b>	
(参考)通期業績予想(連結経常利益)のブレイクダウン	11	業績概況(ひまわり生命)	35
(参考)過去の業績進捗状況	12	当期純利益(ひまわり生命)	36
(参考)経営数値目標等	13	修正利益・修正純資産(ひまわり生命)	37
<b>2. 国内損保事業</b>		<b>5. 介護・ヘルスケア事業等</b>	
2019年度中間期決算概況(損保ジャパン日本興亜)	15	業績概況(介護・ヘルスケア事業等)	39
正味収入保険料	16	SOMPOケアの主要指標	40
正味損害率(アード・インカード)	17	<b>6. ERM・資産運用</b>	
(参考)正味損害率(リトン・ペイド)	18	財務健全性: ESR(99.5%VaR)	42
正味事業費率	19	(参考)実質自己資本・リスク量のブレイクダウン	43
コンバインド・レシオ	20	資産ポートフォリオ(グループベース)	44
資産運用損益	21	資産ポートフォリオ(損保ジャパン日本興亜)	45
(参考)資産運用粗利益の内訳	22	資産ポートフォリオ(SI)	46
(参考)2019年度通期業績予想(損保ジャパン日本興亜)	23	資産ポートフォリオ(ひまわり生命)	47
(参考)通期業績予想の前提(損保ジャパン日本興亜)	24		
(参考)自動車保険関連の指標	25		

2019年度為替(米ドル/円レート)		
中間期決算	107.92円(対前年同期比: Δ5.0%)	9月末レート
	— 海外※ 107.79円(対前年同期比: Δ2.5%)	6月末レート
通期業績予想	今回予想 107.92円(対期初予想比: Δ2.8%)	9月末レート
	(参考)期初予想 110.99円	3月末レート

# 業績ハイライト(2019年度中間期)

- ◆ 中間期の連結経常利益は+359億円増益の637億円、連結純利益は+217億円増益の439億円
- ◆ 10月に発生した大規模国内自然災害などを反映の上、通期業績予想を修正、連結経常利益は1,850億円、連結純利益は1,180億円を見込む
- ◆ 今期業績に対する株主還元に関しては、今後大きな利益変動がないことを前提に、最低でも前期の総還元額を上回る方針

## 中間期実績

- 損保ジャパン日本興亜は、大規模国内自然災害の発生損害額の減少により、保険引受利益は増益  
-E/I損害率(除く国内自然災害・消費増税影響・大口事故)は57.1%と0.4pt改善  
資産運用粗利益は、為替影響があるものの、政策株式売却(ヘッジ込削減額589億円)が進展し順調な進捗
- 海外保険事業の修正利益は、為替影響があったものの、SIの増収がけん引し+5億円の増益
- 国内生保事業は、法人向け商品販売停止の影響を受けるも、着実に保有契約が拡大し、順調に進捗
- 介護事業は、入居率が引き続き改善、計画どおりの進捗

## 通期業績予想の修正

- 台風19号などの大規模国内自然災害の発生に伴う各種影響や、大口事故の状況を踏まえ調整  
連結経常利益は1,850億円(期初予想比△650億円)、連結純利益は1,180億円(期初予想比△500億円)
- ベースの収益性は引き続き堅調

# 1. 連結業績

2. 国内損保事業

---

3. 海外保険事業

---

4. 国内生保事業

---

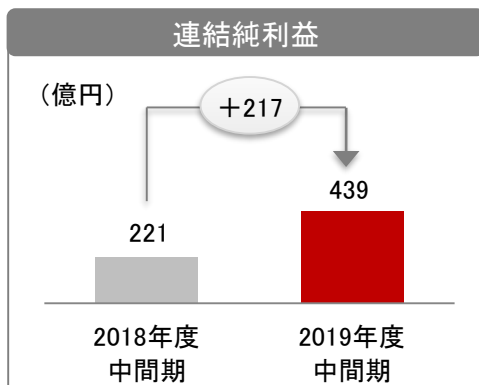
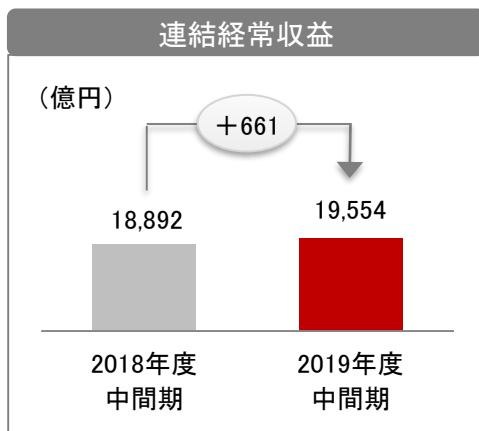
5. 介護・ヘルスケア事業等

---

6. ERM・資産運用

## 2019年度中間期決算概況(連結)

- ◆ SIおよび損保ジャパン日本興亜が引き続き好調、正味収入保険料は+621億円増収
- ◆ 台風15号などの大規模国内自然災害の影響を受けたものの、連結純利益は+217億円の増益



(単位: 億円)	2018年度 中間期	2019年度 中間期	増減	2019年度 (今回予想)
連結経常収益	18,892	19,554	+661 (+3.5%)	-
正味収入保険料	14,403	15,024	+621 (+4.3%)	28,065
生命保険料	1,704	1,729	+25 (+1.5%)	3,565
連結経常利益	278	637	+359	1,850
損保ジャパン日本興亜	△32	333	+366	1,800
海外グループ会社	95	588	+493	862
ひまわり生命	135	143	+8	247
介護・ヘルスケア※1	21	40	+19	69
その他・連結調整等※2	58	△469	△527	△1,130
連結純利益※3	221	439	+217	1,180
損保ジャパン日本興亜	1	249	+248	1,300
海外グループ会社	61	492	+430	728
ひまわり生命	94	94	+0	160
介護・ヘルスケア	18	23	+4	41
その他・連結調整等	44	△421	△465	△1,049
(参考)修正連結利益	283	823	+539	1,280
国内損保事業	△194	344	+538	415
海外保険事業	271	277	+5	470
国内生保事業	177	171	△5	340
介護・ヘルスケア事業等	28	29	+1	55

※1 介護・ヘルスケアは、SOMPOケア、SOMPOヘルスサポートの合計

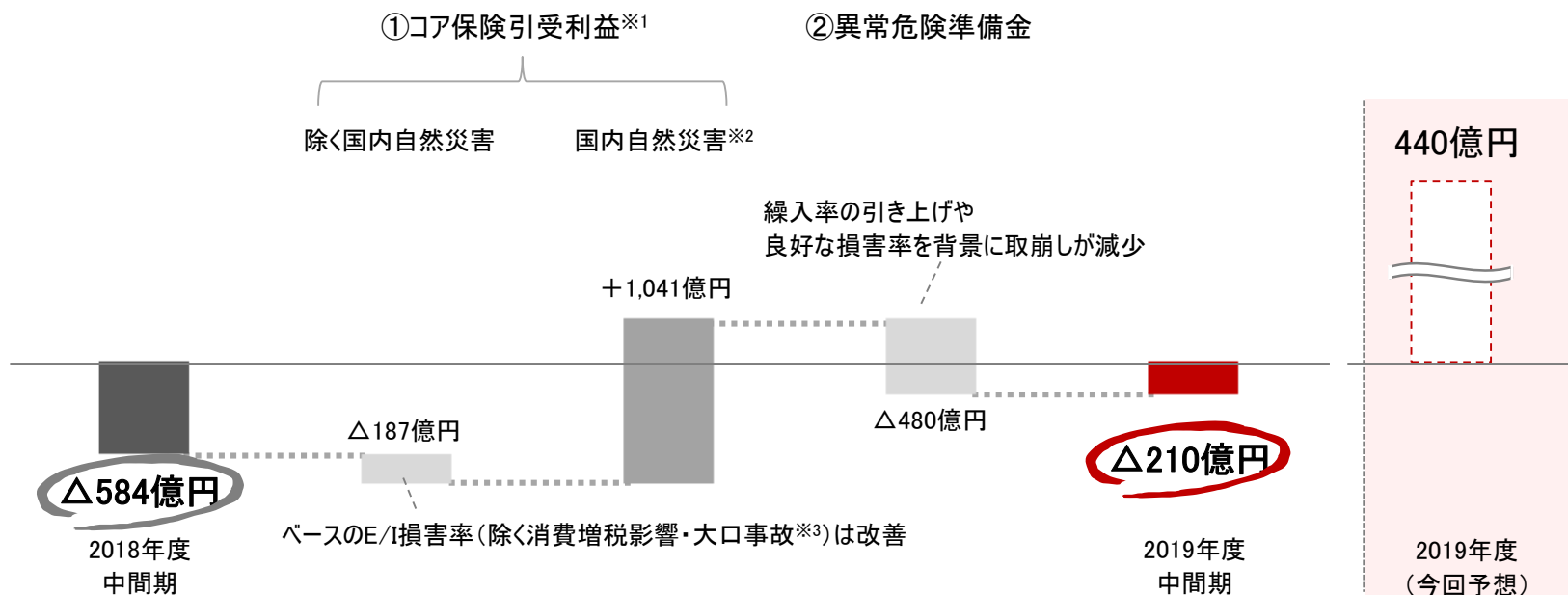
※2 SOMPOホールディングス設立時に企業結合の会計処理として「パーチェス法」を適用したことによる売却損益等の修正を含む

※3 連結純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す(以下同様)

# 決算のポイント① 保険引受利益(損保ジャパン日本興亜)

- ◆ 国内自然災害影響の減少を主因に+373億円の増益
- ◆ 再保険コストの増加などのマイナス影響はあるものの、ベースの損害率は改善

## 保険引受利益(損保ジャパン日本興亜)の増減要因



	①コア保険引受利益			②異常危険準備金	保険引受利益
		(除く国内自然災害)	(国内自然災害)		
2018年度中間期	△615億円	856億円	△1,472億円	31億円	△584億円
2019年度中間期	237億円	669億円	△431億円	△448億円	△210億円

※1 コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

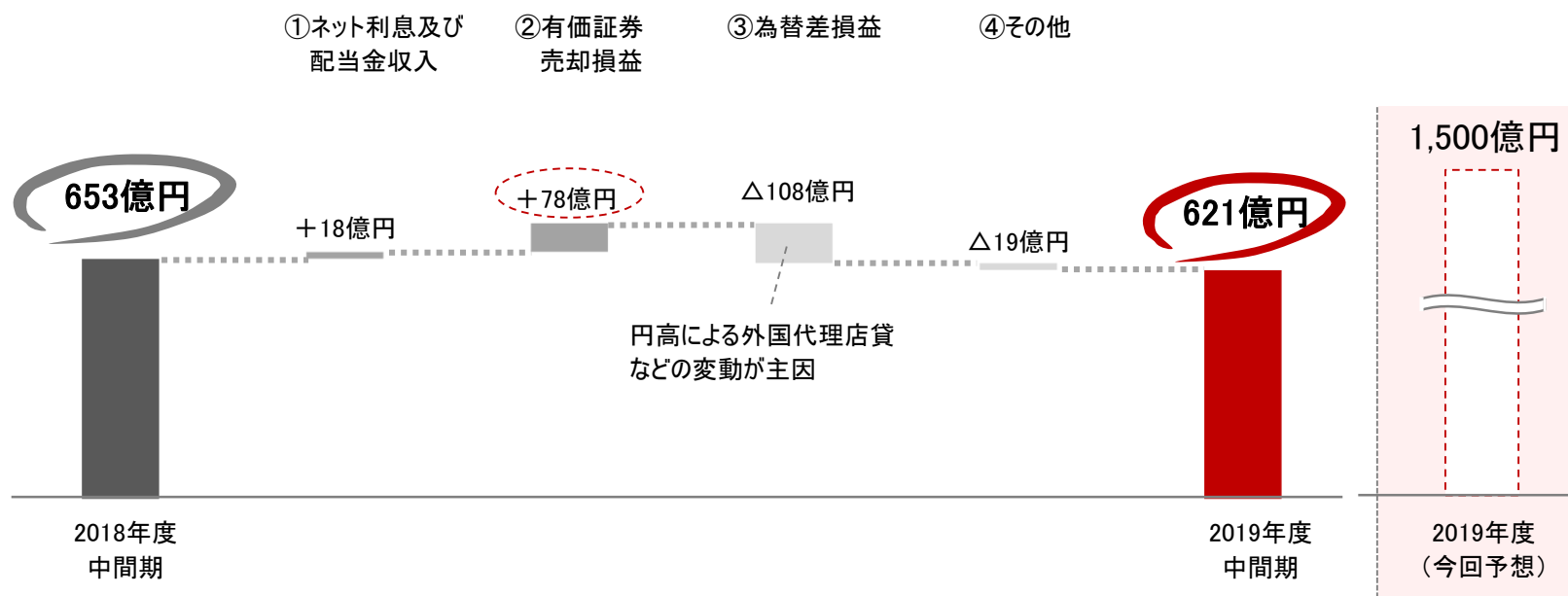
※2 国内自然災害は、当年度発生保険金を集計

※3 消費税影響△36億円、大口事故増△68億円

# 決算のポイント② 資産運用粗利益(損保ジャパン日本興亜)

◆ 政策株式削減の進展などにより有価証券売却益が増加、資産運用粗利益は621億円

## 資産運用粗利益(損保ジャパン日本興亜)の増減要因

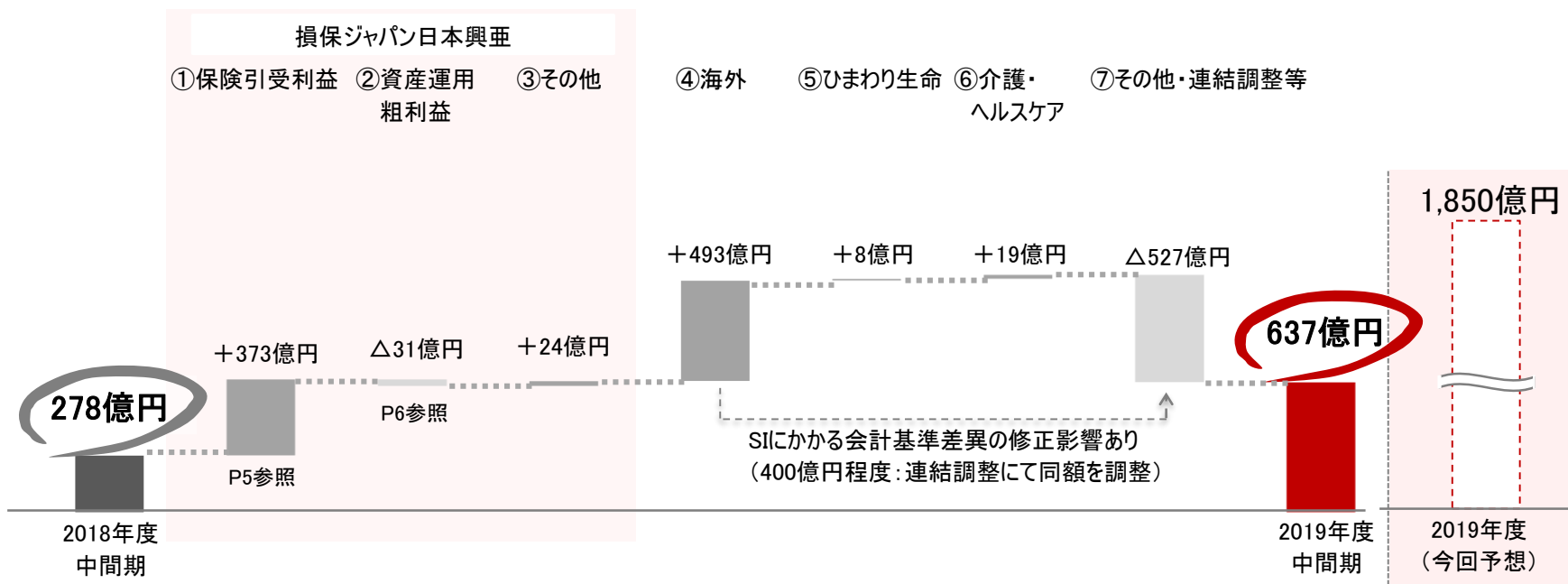


	① ネット利息及び配当金収入	② 有価証券売却損益	③ 為替差損益	④ その他	資産運用粗利益
2018年度 中間期	369億円	246億円	72億円	△34億円	653億円
2019年度 中間期	388億円	324億円	△36億円	△54億円	621億円

# 決算のポイント③ 連結経常利益

◆ 各事業とも増益、連結経常利益は637億円

## 連結経常利益の増減要因



	①保険引受利益	②資産運用粗利益	③その他	④海外グループ会社	⑤ひまわり生命	⑥介護・ヘルスケア	⑦その他・連結調整等	連結経常利益
2018年度中間期	△584億円	653億円	△101億円	95億円	135億円	21億円	58億円	278億円
2019年度中間期	△210億円	621億円	△77億円	588億円	143億円	40億円	△469億円※	637億円

※ 2019年度中間期のSIに係るのれん・無形固定資産等償却額(税前)は117億円

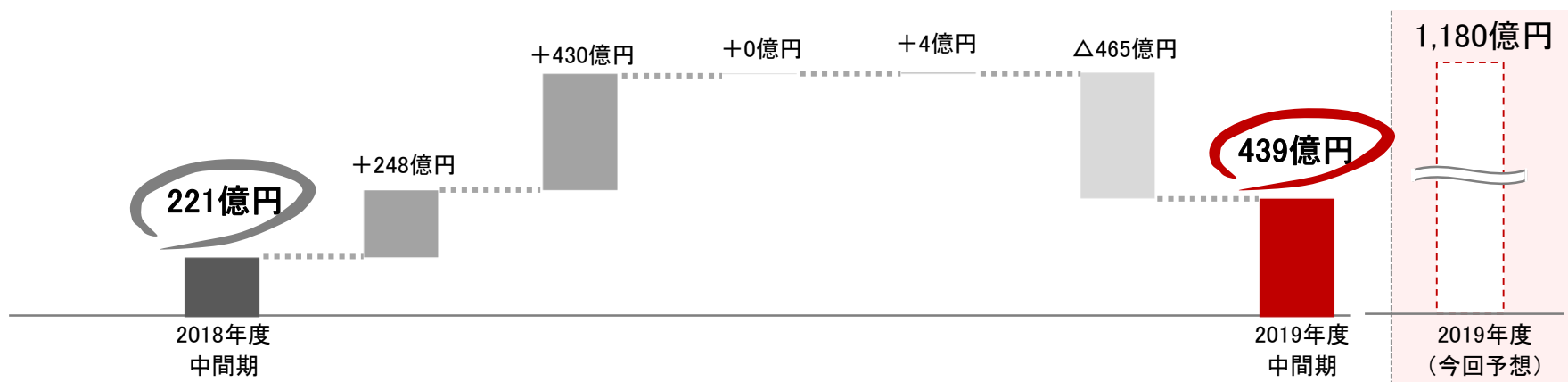


# 決算のポイント④ 連結純利益

◆ 連結純利益は、+217億円増益の439億円

## 連結純利益の増減要因

①損保ジャパン 日本興亜 ②海外グループ会社 ③ひまわり生命 ④介護・ヘルスケア ⑤その他・連結調整等



	①損保ジャパン 日本興亜	②海外グループ会社	③ひまわり生命	④介護・ヘルスケア	⑤その他・ 連結調整等	連結純利益
2018年度 中間期	1億円	61億円	94億円	18億円	44億円	221億円
2019年度 中間期	249億円	492億円	94億円	23億円	△421億円	439億円

## 2019年度通期業績予想(連結)

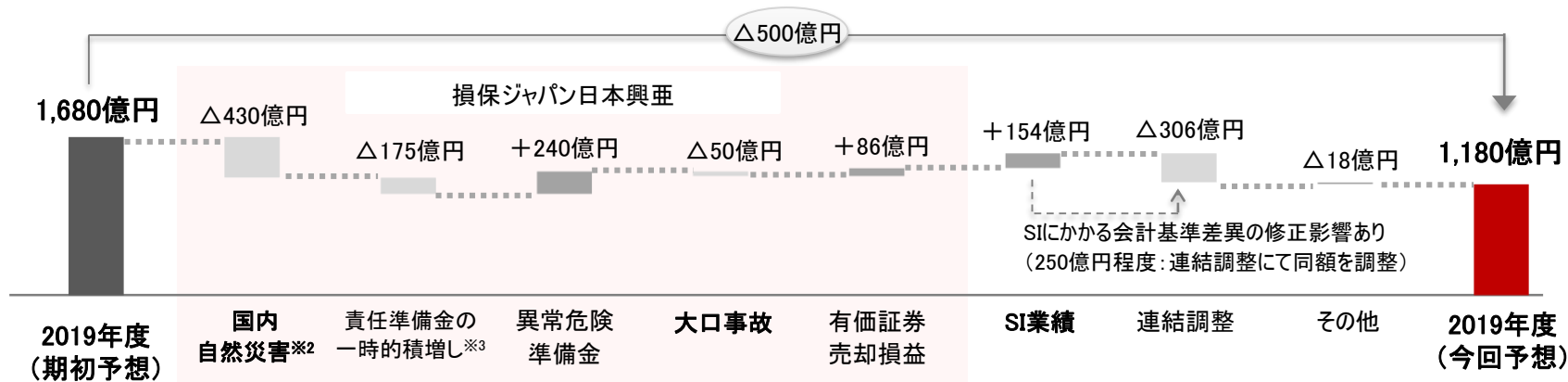
◆ 足下の状況を踏まえて業績予想を修正、連結経常利益は1,850億円、連結純利益は1,180億円を見込む

(単位:億円)	2018年度 (実績)①	2019年度			対前年増減 ③-①
		(期初予想)②	(今回予想)③	増減③-②	
正味収入保険料	27,181	28,200	28,065	△135	+883 (+3.3%)
生命保険料	3,496	3,630	3,565	△65	+68 (+2.0%)
連結経常利益	1,989	2,500	1,850	△650	△139
損保ジャパン日本興亜	2,155	2,260	1,800	△460	△355
海外グループ会社	△58	685	862	+177	+920
ひまわり生命	232	242	247	+5	+14
介護・ヘルスケア	59	66	69	+3	+10
その他・連結調整等	△399	△753	△1,130	△376	△730
連結純利益	1,466	1,680	1,180	△500	△286 (△19.5%)
損保ジャパン日本興亜	1,757	1,630	1,300	△330	△457
海外グループ会社	△61	583	728	+144	+789
ひまわり生命	153	160	160	-	+6
介護・ヘルスケア	42	38	41	+3	△0
その他・連結調整等	△425	△732	△1,049	△317	△624
(参考)修正連結利益	1,135	1,850	1,280	△570	+144 (+12.7%)
国内損保事業	423	865	415	△450	△8
海外保険事業	330	590	470	△120	+139
国内生保事業	328	340	340	-	+11
介護・ヘルスケア事業等	52	55	55	-	+2

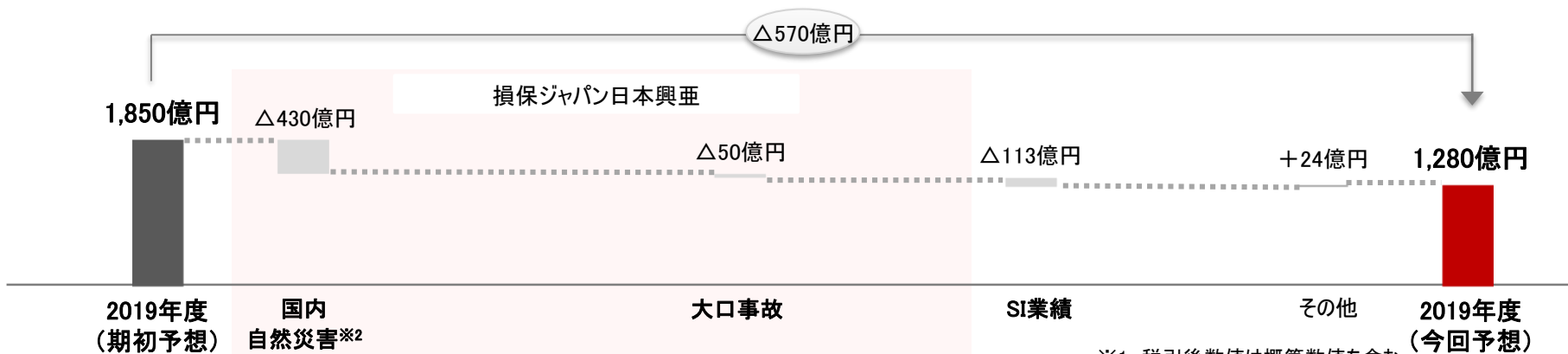
# 通期業績予想修正のポイント

◆ 台風19号など大規模国内自然災害の発生に伴う各種影響や、大口事故の状況を踏まえ調整

## 修正の要因(税引後数値※1): 連結純利益



## (参考) 修正の要因(税引後数値※1): 修正連結利益



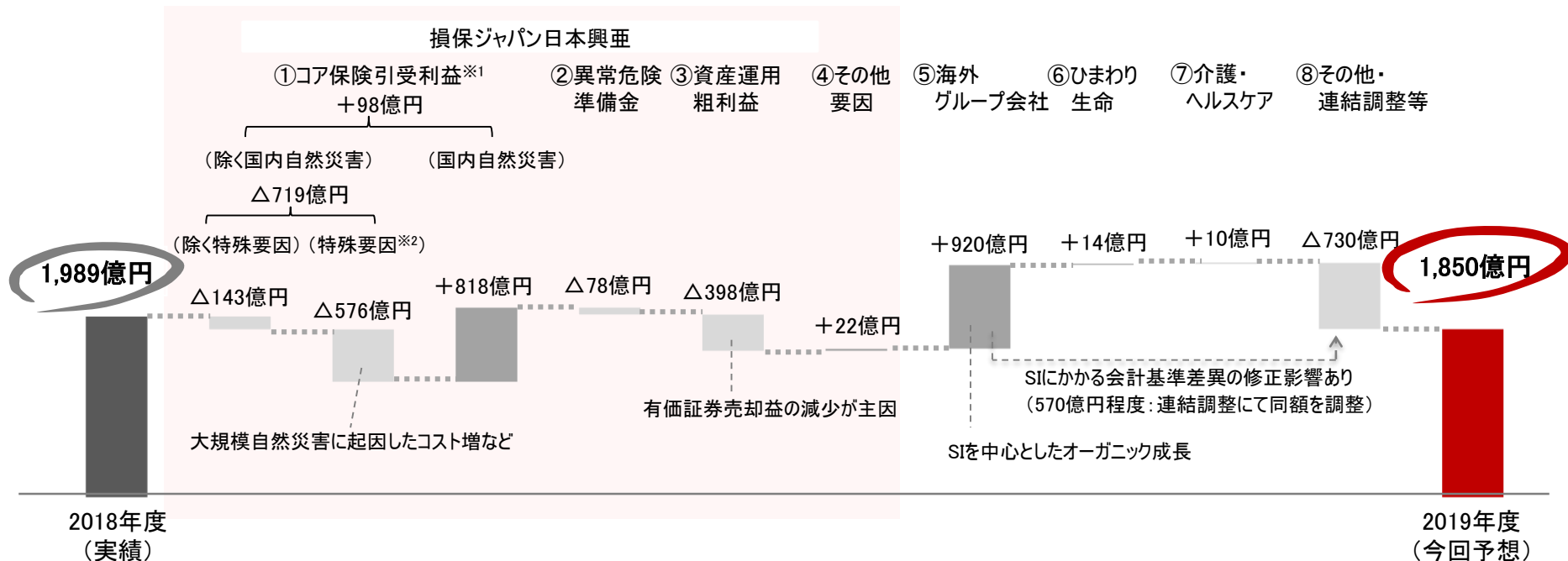
※1 税引後数値は概算数値を含む

※2 復元保険料等含む

※3 自然災害責任準備金

# (参考) 通期業績予想(連結経常利益)のブレイクダウン

## 連結経常利益の主要構成要素



	①コア保険引受利益		②異常危険準備金	③資産運用粗利益	④その他要因	⑤海外グループ会社	⑥ひまわり生命	⑦介護・ヘルスケア	⑧その他・連結調整等	連結経常利益
	(除く国内自然災害)	(国内自然災害)								
2018年度実績	1,651億円	△1,778億円	547億円	1,898億円	△162億円	△58億円	232億円	59億円	△399億円	1,989億円
2019年度今回予想	931億円	△960億円	468億円	1,500億円	△140億円	862億円※ <sup>3</sup>	247億円	69億円	△1,130億円※ <sup>3</sup>	1,850億円
(参考)2019年度期初予想	1,374億円	△530億円	135億円	1,431億円	△151億円	685億円※ <sup>3</sup>	242億円	66億円	△753億円※ <sup>3</sup>	2,500億円

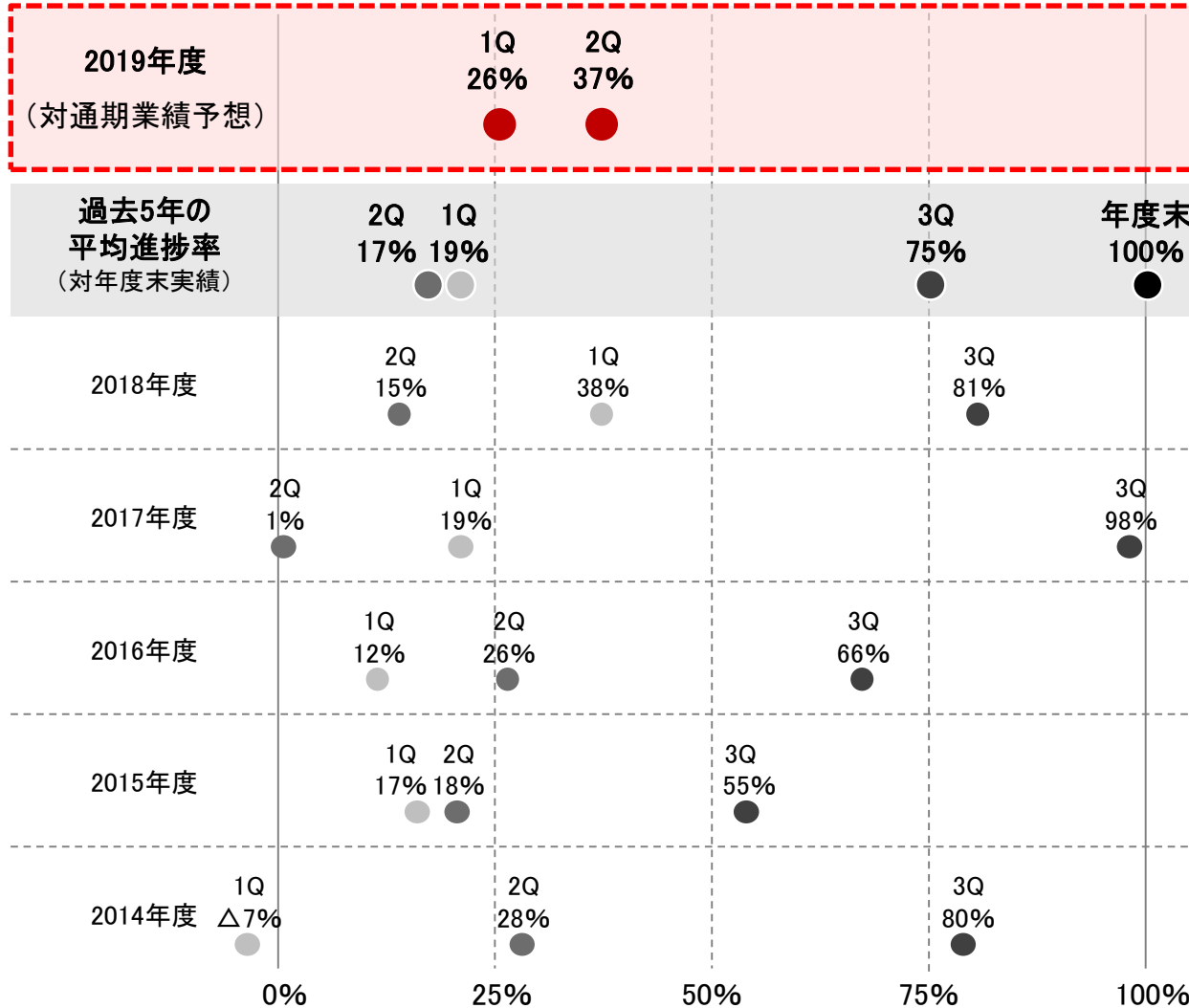
※<sup>1</sup> コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

※<sup>2</sup> 責任準備金の一時的積増し(自然災害責任準備金積増)、復元保険料、消費税影響

※<sup>3</sup> SI買収に伴うのれんは1,513百万ドル、無形固定資産を合わせた正味償却対象額は2,000百万ドル程度(買収時点)、のれんは10年、無形固定資産は適切な償却期間を設定、2019年度今回予想における正味償却対象額は234億円の見込み  
SIの会計制度変更により、2019年度以降、SIの現地会計での無形資産等調整にかかる処理は行わない

## (参考)過去の業績進捗状況

## 四半期の進捗率(連結純利益)



## (参考) 経営数値目標等

## 計画数値

(単位: 億円)	2018年度	2019年度		2020年度
	(実績)	(中間実績)	(今回予想)	(計画)
国内損保事業	423	344	415	950以上
海外保険事業	330	277	470	650以上
国内生保事業	328	171	340	370以上
介護・ヘルスケア事業等	52	29	55	80以上
<b>合計(修正連結利益)</b>	<b>1,135</b>	<b>823</b>	<b>1,280</b>	<b>2,050~ 2,150</b>
<b>修正連結ROE※2</b>	<b>4.5%</b>	—	<b>5.3%</b>	<b>8%程度</b>
ROE(J-GAAPベース)	8.0%	—	6.9%	9.5%程度

## 修正連結利益※1の定義

## 国内損保事業

当期純利益  
 + 異常危険準備金繰入額等(税引後)  
 + 価格変動準備金繰入額(税引後)  
 - 有価証券の売却損益・評価損(税引後)

## 海外保険事業

当期純利益(主な非連結子会社含む)  
 なお、SIのみOperating Income※3

## 国内生保事業

当期純利益  
 + 危険準備金繰入額(税引後)  
 + 価格変動準備金繰入額(税引後)  
 + 責任準備金補正(税引後)  
 + 新契約費繰延(税引後)  
 - 新契約費償却(税引後)

## 介護・ヘルスケア事業等

当期純利益

※1 事業部門別修正利益は、一過性の損益またはグループ会社配当等の特殊要因を除く

※2 修正連結ROE=修正連結利益÷修正連結純資産(分母は、期首・期末の平均残高)

修正連結純資産=連結純資産(除く国内生保事業純資産)+国内損保事業異常危険準備金等(税引後)+国内損保事業価格変動準備金(税引後)+国内生保事業修正純資産  
 国内生保事業修正純資産=国内生保事業純資産(J-GAAP)+危険準備金(税引後)+価格変動準備金(税引後)+責任準備金補正(税引後)+未償却新契約費(税引後)

※3 SIのOperating Income=当期純利益-為替損益-有価証券売却・評価損益-減損損失など

---

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

---

4. 国内生保事業

---

5. 介護・ヘルスケア事業等

---

6. ERM・資産運用

# 2019年度中間期決算概況(損保ジャパン日本興亜)

◆ 再保険コストアップなどの影響あるも、国内自然災害発生損の減少を主因に当期純利益は+248億円増益

(単位:億円)	2018年度 中間期	2019年度 中間期	増減	2019年度 (今回予想)
正味収入保険料	10,934	11,281	+346(+3.2%)	21,855
(除く自賠償・家計地震)	9,542	9,822	+279(+2.9%)	19,029
既経過保険料(除く自賠償・家計地震)	9,363	9,375	+11(+0.1%)	18,847
E/I損害率(除く自賠償・家計地震)	73.4%	63.0%	△10.4pt	64.8%
正味損害率	63.4%	57.8%	△5.6pt	66.0%
(除く自賠償・家計地震)	60.8%	55.7%	△5.1pt	64.4%
正味事業費率	32.1%	31.7%	△0.4pt	32.0%
(除く自賠償・家計地震)	33.5%	33.1%	△0.5pt	33.4%
コンバインド・レシオ(W/P)(除く自賠償・家計地震)	94.3%	88.8%	△5.5pt	97.9%
(参考)コンバインド・レシオ(E/I) <sup>※1</sup> (除く自賠償・家計地震)	106.9%	96.0%	△10.9pt	98.2%
保険引受利益	△584	△210	+373	440
資産運用粗利益	653	621	△31	1,500
経常利益	△32	333	+366	1,800
当期純利益	1	249	+248	1,300
(参考)				
修正利益				
+)異常危険準備金繰入額等(税引後)	△22	324	+347	△335
+)価格変動準備金繰入額(税引後)	15	14	△0	28
-)有価証券売却損益・評価損(税引後)	172	226	+53	500
-)特殊要因(税引後) <sup>※2</sup>	△6	△2	+4	17
修正利益	△171	365	+537	474

※1 E/I損害率+正味事業費率(以下同様)

※2 株式先物関連損益等



◆ 火災保険、自動車保険の増収がトップライン増加を牽引、中小企業向けの新種保険も引き続き好調

## 種目別正味収入保険料

(単位:億円)	2018年度 中間期	2019年度 中間期	増減	2019年度 (今回予想)
火災	1,304	1,498	+193 (+14.9%)	2,762
海上	233	241	+8 (+3.5%)	482
傷害	938	913	△24 (△2.6%)	1,682
自動車	5,340	5,405	+64 (+1.2%)	10,883
自賠償	1,389	1,456	+66 (+4.8%)	2,818
その他	1,728	1,765	+37 (+2.1%)	3,224
うち賠償責任	970	976	+6 (+0.7%)	1,692
合計	10,934	11,281	+346 (+3.2%)	21,855
合計(除く自賠償・家計地震)	9,542	9,822	+279 (+2.9%)	19,029

(参考) 自動車保険の台数・単価・保険料  
対前年同期比(2019年4~9月)

(営業成績保険料ベース)

	台数※	単価	保険料
ノンフリート	△0.3%	+2.0%	+1.6%
フリート	+7.4%	△2.7%	+4.6%
合計	+1.3%	+0.8%	+2.1%

※ 時間単位型自動車保険 乗るびた!を除く

(主な増減要因)

火災: 長期契約を中心とした新規契約の増加、企業物件を中心とした料率適正化などが主因

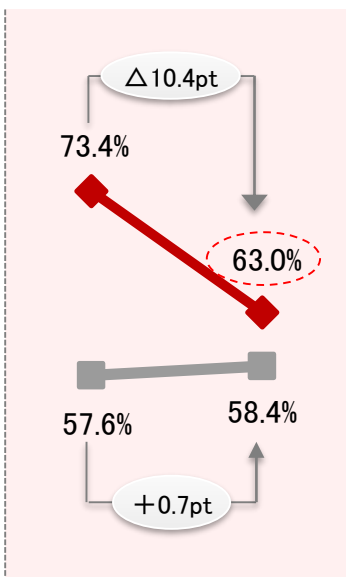
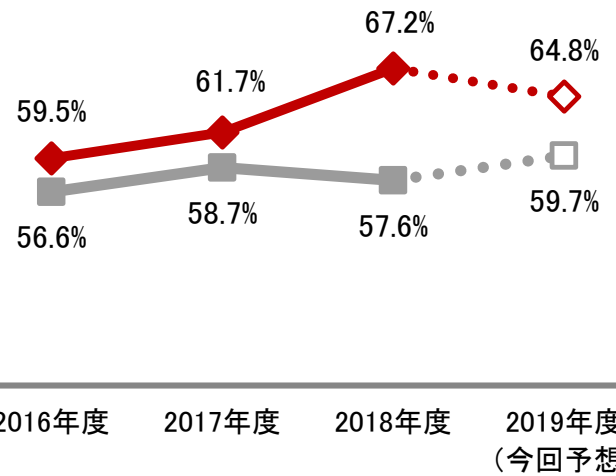
自動車: 2019年1月の商品改定によるノンフリートの単価アップに加え、大口フリートの成約などにより増収

その他: 中小企業向けパッケージ商品の販売が引き続き好調

◆ 国内自然災害の発生損害額減少を主因に、中間期のE/I損害率は改善  
 ◆ 通期業績予想は、国内自然災害・大口事故などを保守的に織り込む

## E/I損害率の推移

### 中間期の推移



### (参考)種目別E/I損害率

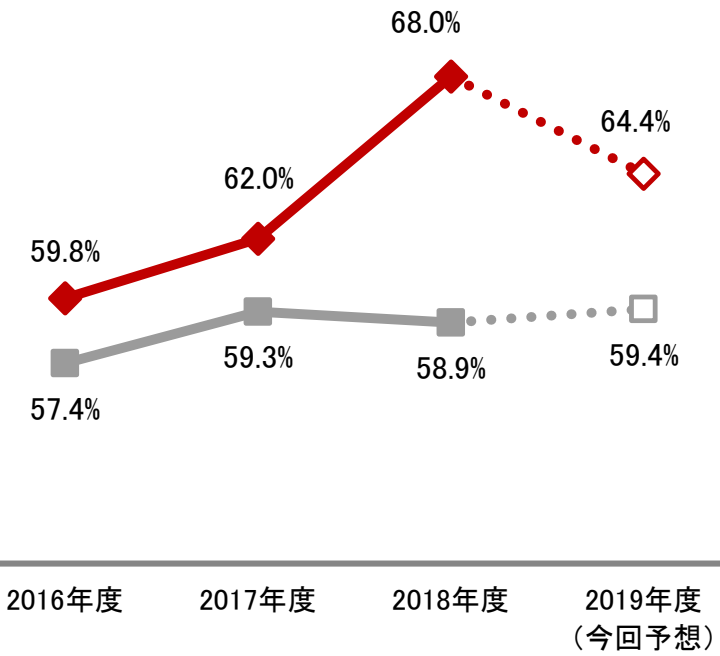
	2019年度中間期		2019年度(今回予想)
	損害率	対前年同期増減	損害率
火災(除く家計地震)※	77.5%	△60.7pt	79.4%
海上	88.9%	△10.6pt	73.9%
傷害	53.4%	△1.4pt	53.2%
自動車※	60.8%	△0.7pt	63.2%
その他	59.0%	△0.4pt	62.4%
合計(除く自賠償・家計地震)	63.0%	△10.4pt	64.8%

※ 中間期の国内自然災害を除くベースでは、  
 火災(除く家計地震): 51.8%(対前年+5.0pt)  
 自動車: 60.1%(同+0.4pt)

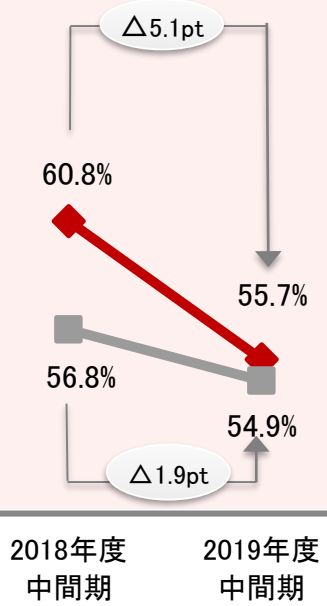
◆ 損害率(除く自賠償・家計地震)  
 ■ 参考: 損害率(除く自賠償・家計地震・国内自然災害)

# (参考) 正味損害率(リトン・ペイド)

## 正味損害率の推移



### 中間期の推移



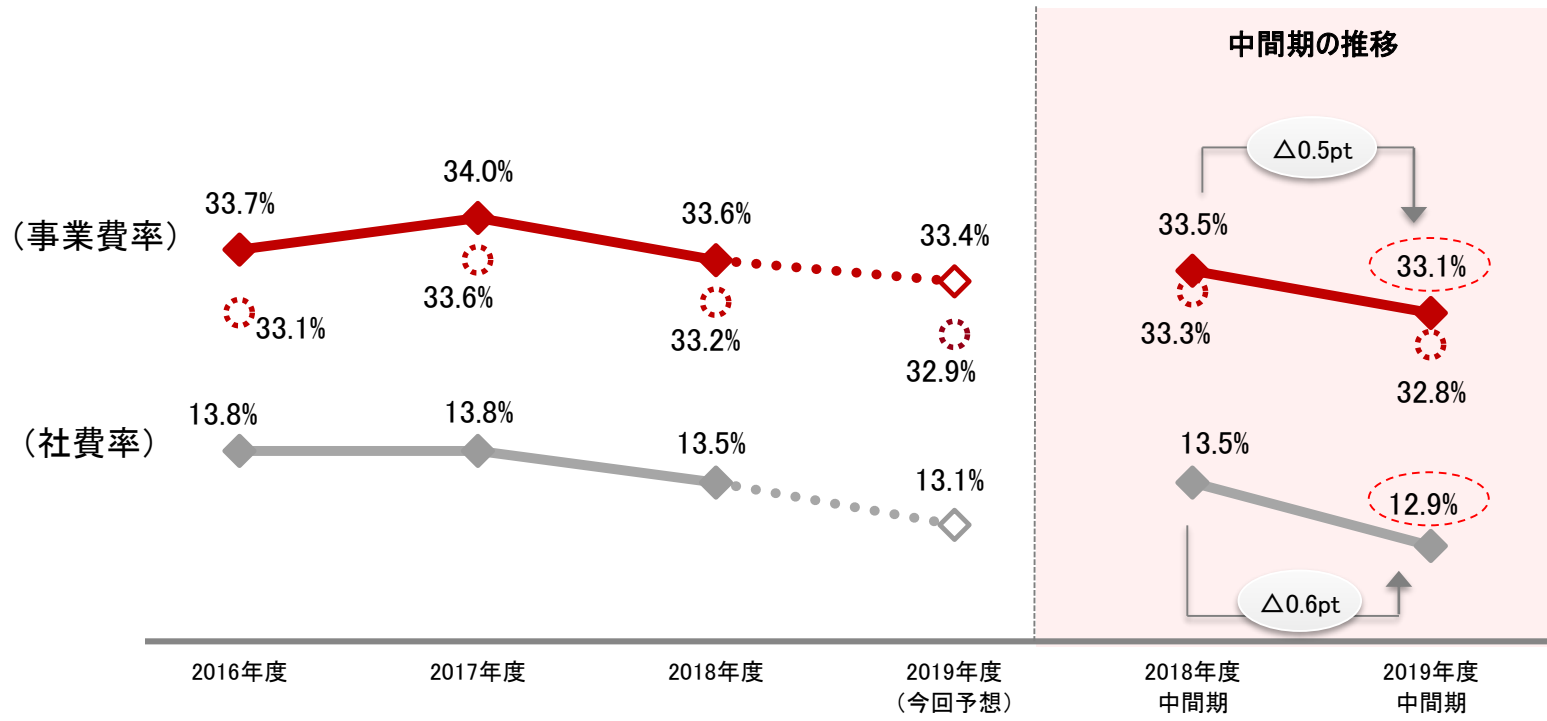
### (参考) 種目別リトン損害率

	2019年度中間期 損害率	対前年 同期増減
火災(除く家計地震)	59.9%	$\Delta 18.9\text{pt}$
海上	55.7%	+6.8pt
傷害	49.6%	$\Delta 2.8\text{pt}$
自動車	58.3%	$\Delta 3.2\text{pt}$
その他	47.6%	$\Delta 3.8\text{pt}$
合計 (除く自賠償・家計地震)	55.7%	$\Delta 5.1\text{pt}$

◆ 損害率(除く自賠償・家計地震)  
 ■ 参考: 損害率(除く自賠償・家計地震・国内自然災害)

◆ 着実な社費の削減などにより、事業費は計画どおりコントロール

## 事業費率・社費率※ (除く自賠責・家計地震)の推移



◆ 事業費率(除く自賠責・家計地震)    ● 事業費率(除く先行投資)    ◆ 社費率(除く自賠責・家計地震)

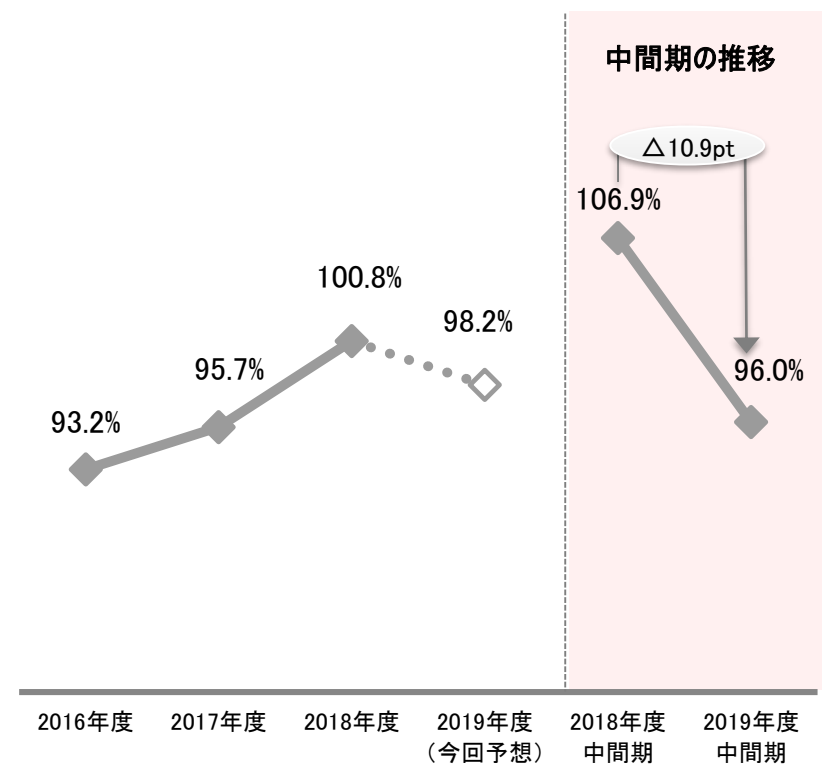
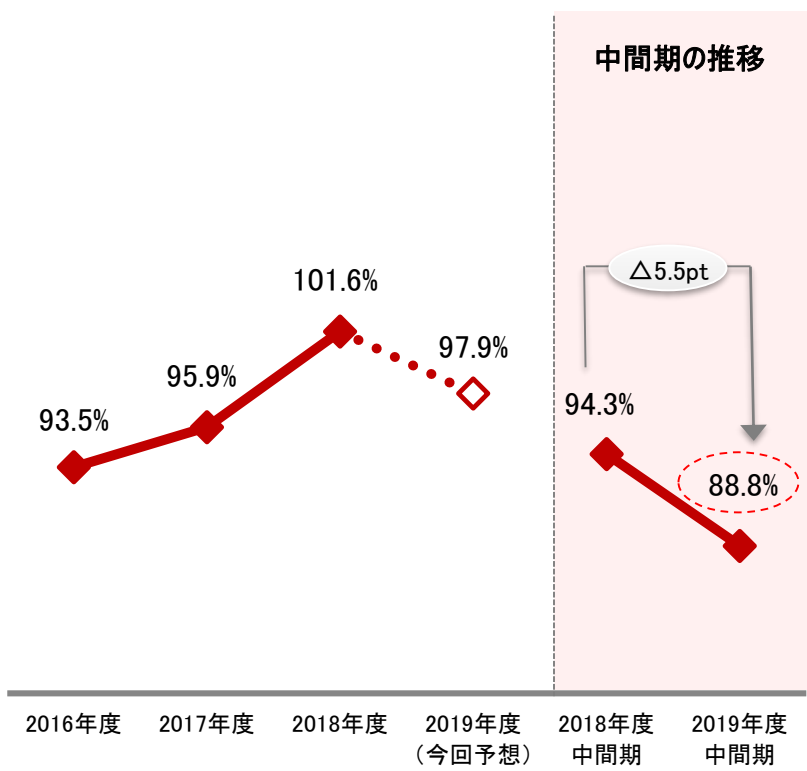
※ 保険引受に係る営業費および一般管理費の正味収入保険料に対する比率

◆ 中間期のコンバインド・レシオは、国内自然災害減少など主因に、対前年同期比△5.5ptの88.8%

◆ 国内自然災害の今後の支払進捗により、通期では97.9%を見込む

コンバインド・レシオ(除く自賠責・家計地震)

(参考)E/コンバインド・レシオ(除く自賠責・家計地震)



## ◆ 政策株式は概ね計画どおり削減

### 資産運用粗利益(損保ジャパン日本興亜単体)

(単位:億円)		2018年度 中間期	2019年度 中間期	増減	2019年度 (今回予想)
ネット利息及び配当金収入	①	369	388	+18	913
利息及び配当金収入※ <sup>1</sup>		557	572	+15	1,279
(うち海外子会社配当金)		0	2	+2	233
有価証券売却損益※ <sup>1</sup>	②	246	324	+78	714
(うち国内株式)		378	211	△167	577
有価証券評価損	③	△6	△10	△3	△20
(うち国内株式)		△4	△8	△3	△7
金融派生商品損益	④	△63	△35	+27	△77
その他損益	⑤	106	△44	△151	△29
資産運用粗利益 (①~⑤計)		653	621	△31	1,500

#### (参考)政策株式削減額

現物※<sup>2</sup> 355億円

先物※<sup>3</sup> 233億円

合計 589億円

※<sup>2</sup> 時価ベースのネット削減額  
(売却時価-購入時価)

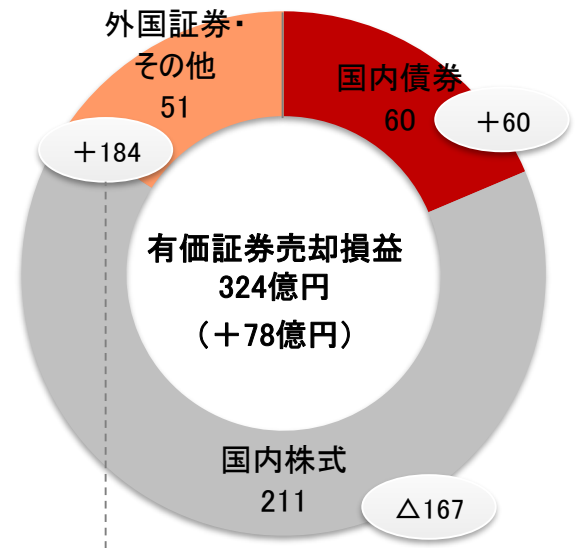
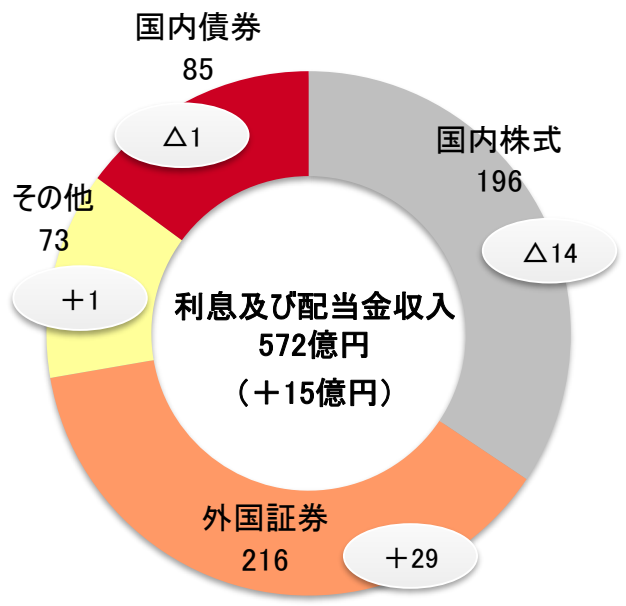
2019年度削減目標額は1,000億円前後

※<sup>3</sup> 日経平均先物の売建て


※<sup>1</sup> 内訳は次ページ参照

## 利息及び配当金収入・有価証券売却損益の内訳(2019年度中間期)

(億円)



主にグループ会社株売却損(△113億円)の影響剥落  
※ 連結決算では消去

 : 2018年度中間期対比の増減額

# (参考)2019年度通期業績予想(損保ジャパン日本興亜)

(単位:億円)	2018年度	2019年度			対前年増減 ③-①
	(実績)①	(期初予想)②	(今回予想)③	増減③-②	
正味収入保険料	21,486	21,720	21,855	+135(+0.6%)	+368(+1.7%)
(除く自賠責・家計地震)	18,698	18,926	19,029	+103(+0.5%)	+331(+1.8%)
既経過保険料(除く自賠責・家計地震)	18,692	18,855	18,847	△7(△0.0%)	+154(+0.8%)
E/I損害率(除く自賠責・家計地震)	67.2%	61.7%	64.8%	+3.1pt	△2.4pt
正味損害率	69.8%	65.0%	66.0%	+1.0pt	△3.8pt
(除く自賠責・家計地震)	68.0%	63.0%	64.4%	+1.4pt	△3.6pt
正味事業費率	32.1%	32.0%	32.0%	△0.1pt	△0.1pt
(除く自賠責・家計地震)	33.6%	33.5%	33.4%	△0.0pt	△0.1pt
コンバインド・レシオ(W/P)(除く自賠責・家計地震)	101.6%	96.5%	97.9%	+1.4pt	△3.7pt
(参考)コンバインド・レシオ(E/I)(除く自賠責・家計地震)	100.8%	95.2%	98.2%	+3.0pt	△2.5pt
保険引受利益	419	980	440	△540(△55.1%)	+20(+5.0%)
資産運用粗利益	1,898	1,431	1,500	+68(+4.8%)	△398(△21.0%)
経常利益	2,155	2,260	1,800	△460(△20.4%)	△355(△16.5%)
当期純利益	1,757	1,630	1,300	△330(△20.2%)	△457(△26.0%)
(参考) 修正利益					
+)異常危険準備金繰入額等(税引後)	△392	△94	△335	△240	+56
+)価格変動準備金繰入額(税引後)	28	29	28	△0	△0
-)有価証券売却損益・評価損(税引後)	686	421	500	+78	△186
-)特殊要因(税引後)※	239	223	17	△206	△221
修正利益	467	918	474	△444(△48.3%)	+6(+1.5%)

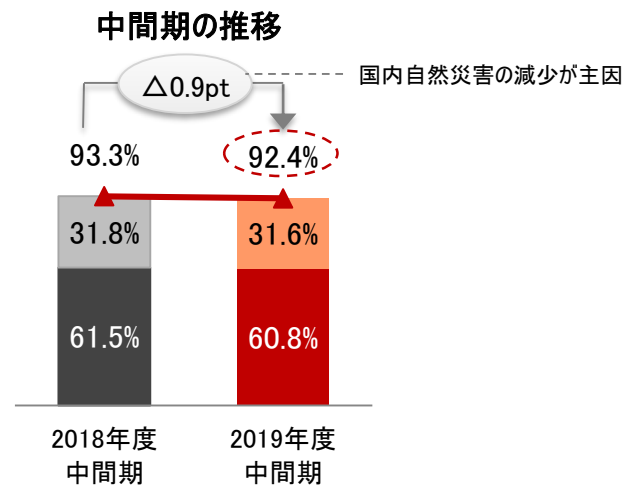
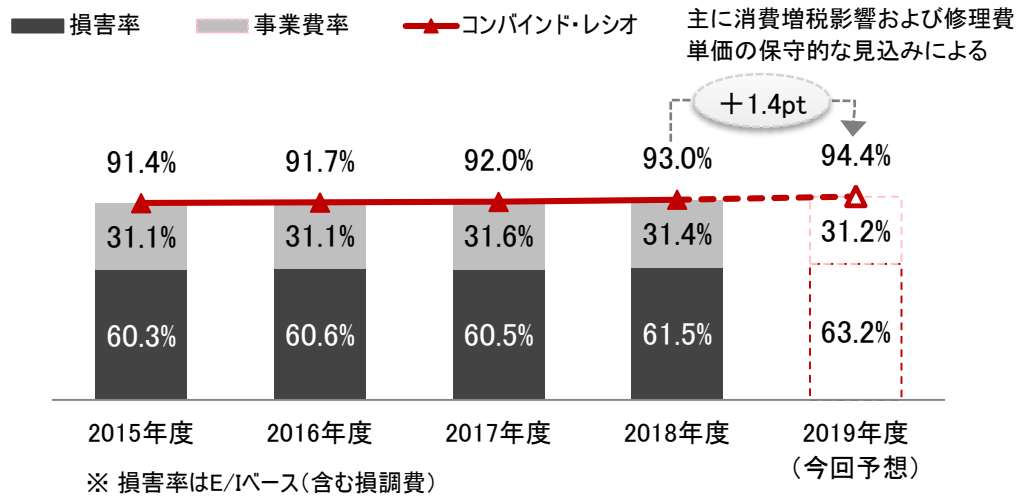
※ 株式先物関連損益、グループ会社配当など



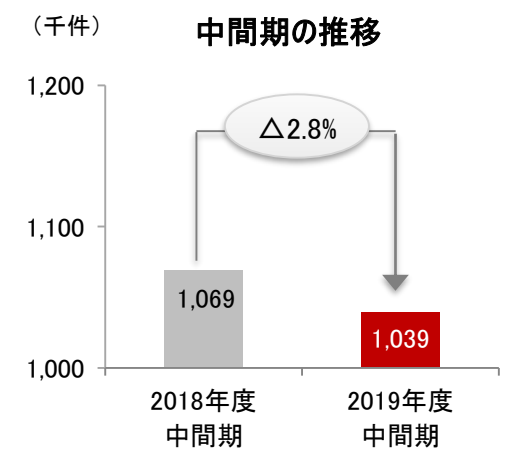
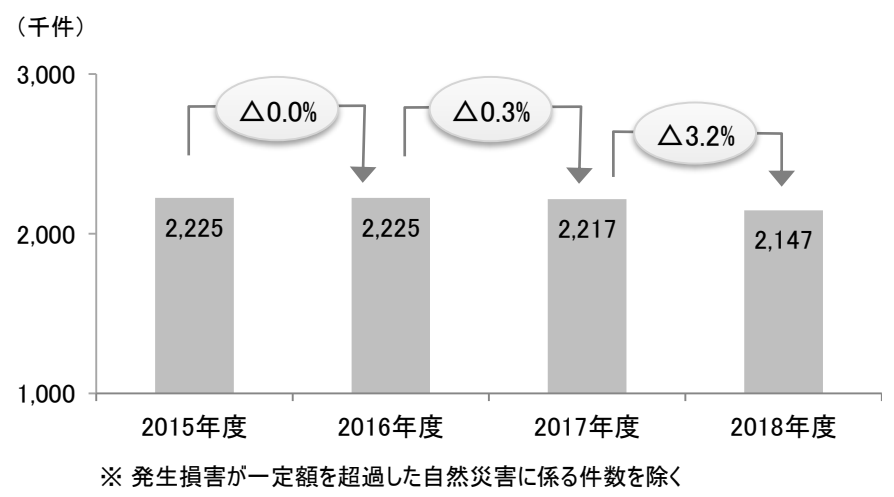
## (参考)通期業績予想の前提(損保ジャパン日本興亜)

	期初予想	今回予想
<b>国内自然災害</b> (当年度発生)	530億円	960億円
<b>異常危険準備金</b>	135億円の取り崩し(ネット) (火災:139億円の取り崩し、自動車:38億円の取り崩し)	468億円の取り崩し(ネット) (火災:520億円の取り崩し、自動車:37億円の取り崩し)
<b>異常危険準備金繰入率</b>	火災グループ繰入率 火災:15.0%、 火災以外:6.0% 自動車グループ繰入率:3.2%	(変更なし)
<b>資産運用</b>	<株価> 日経平均:21,205円 <金利> 10年物日本国債:△0.08% <為替> ドル円:110.99円、ユーロ円:124.56円 ※マーケットの前提は2019年3月末の水準を想定	<株価> 日経平均:21,755円 <金利> 10年物日本国債:△0.21% <為替> ドル円:107.92円、ユーロ円:118.02円 ※マーケットの前提は2019年9月末の水準を想定
<b>利息及び配当金収入</b>	グロス:1,281億円 ネット:915億円	グロス:1,279億円 ネット:913億円
<b>有価証券キャピタル損益</b>	有価証券売却損益:595億円 有価証券評価損:10億円	有価証券売却損益:714億円 有価証券評価損:20億円
<b>価格変動準備金</b>	40億円の繰入れ(ネット)	39億円の繰入れ(ネット)

## コンバインド・レシオの推移

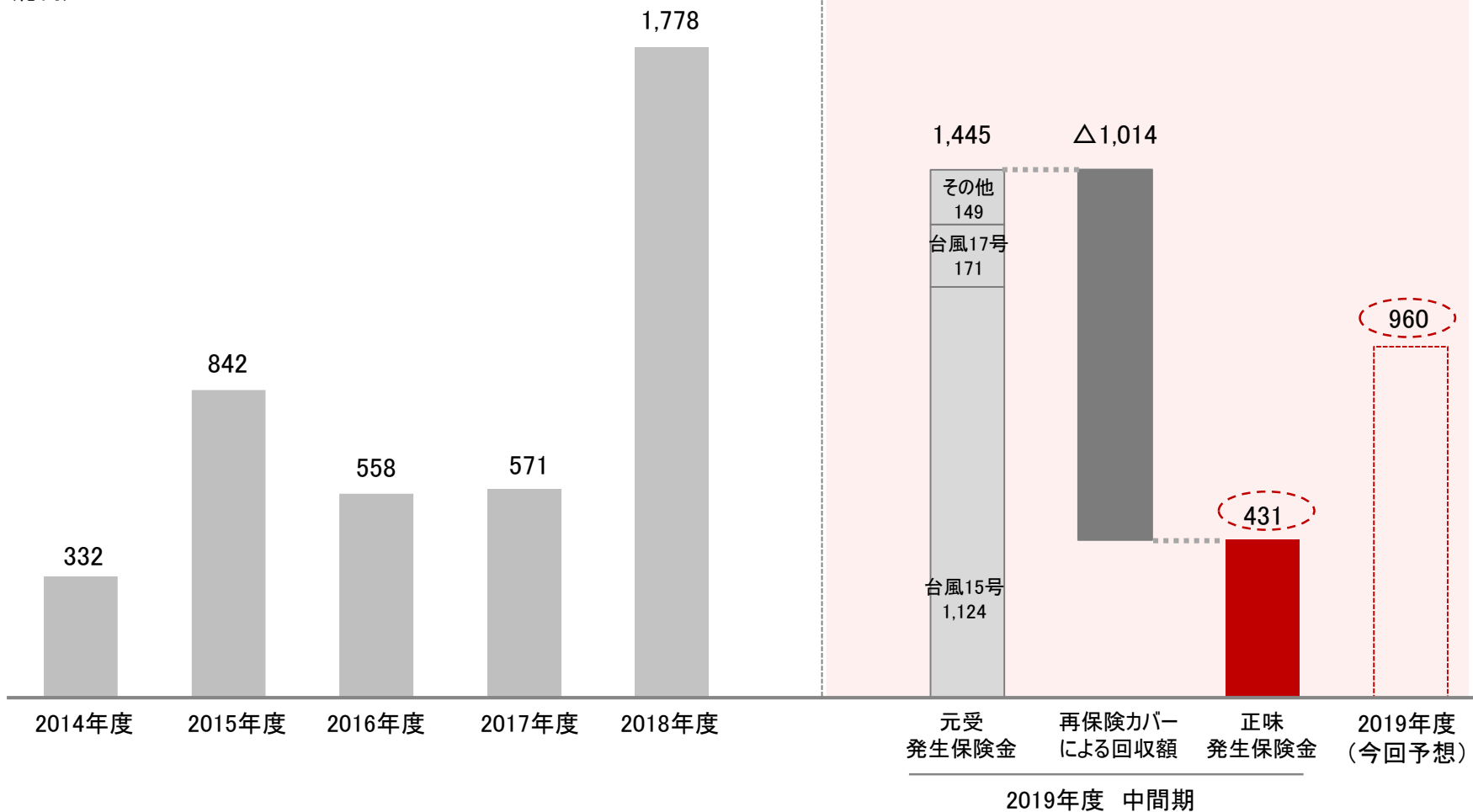


## 事故受付件数の推移



## 当年度発生国内自然災害に係る正味発生保険金

(億円)



※ 除く自賠責・家計地震

## 責任準備金・支払備金(2019年度中間期末)

(単位:億円)	普通責任準備金※1		異常危険準備金		支払備金	
	残高	積増額	残高	積増額	残高	積増額
火災※2	7,285	+108	1,577	+226	1,419	+179
海上	179	+32	452	+14	328	+63
傷害	1,360	+104	723	+29	561	△20
自動車	3,175	+31	477	+87	4,011	+115
自賠責※2	4,550	+162	-	-	718	△21
その他	3,553	+147	2,133	+91	2,224	+91
合計	20,105	+587	5,364	+448	9,264	+407
合計(除く自賠責・家計地震)	15,497	+422	5,364	+448	8,546	+429
	残高	積増額				積増額
長期性資産※3	12,752	△213	外貨建支払備金の為替影響			△36

※1 積立保険以外に係る払戻積立金を含む

※2 地震保険および自賠責保険に係る責任準備金は普通責任準備金に含む

※3 払戻積立金と契約者配当金として積み立てられている積立保険の収入積立保険料とその運用益の累積残

---

1. 連結業績

---

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

---

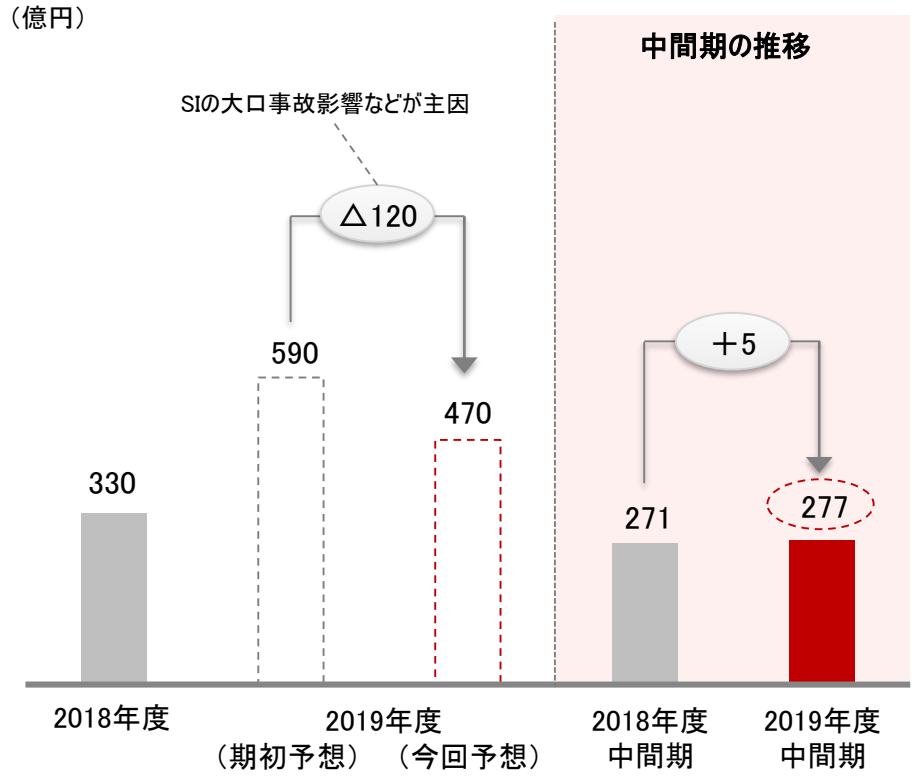
5. 介護・ヘルスケア事業等

---

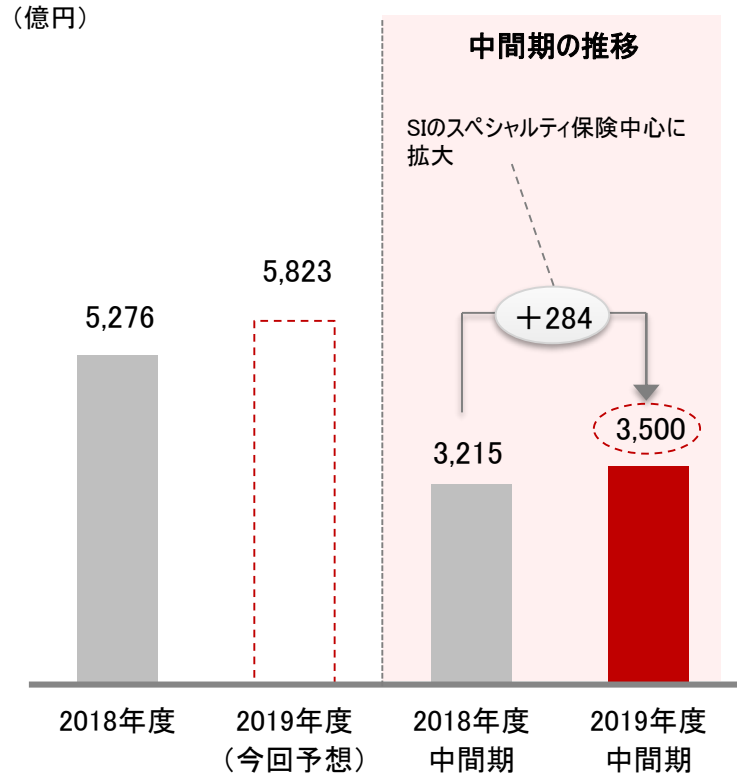
6. ERM・資産運用

◆ 中間期の修正利益は、為替影響があったものの、SIやシゴルタの利益成長を主因に+5億円増益の277億円  
 ◆ 足下の環境を踏まえ、通期の修正利益は470億円(対期初予想△120億円)を見込む

## 修正利益※



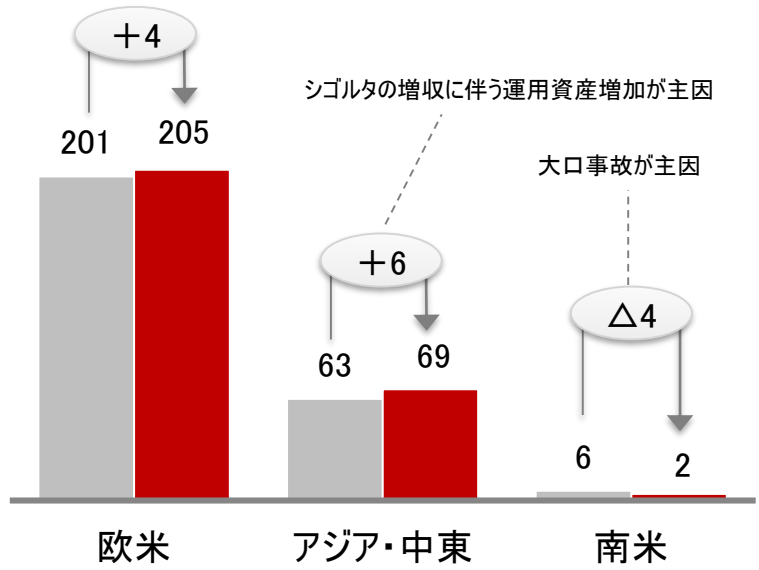
## (参考)収入保険料※



※ 収入保険料は、持分割合を反映した数値を記載しており、連結財務諸表とは基準が異なる。修正利益は、持分割合の反映などの調整を行っている

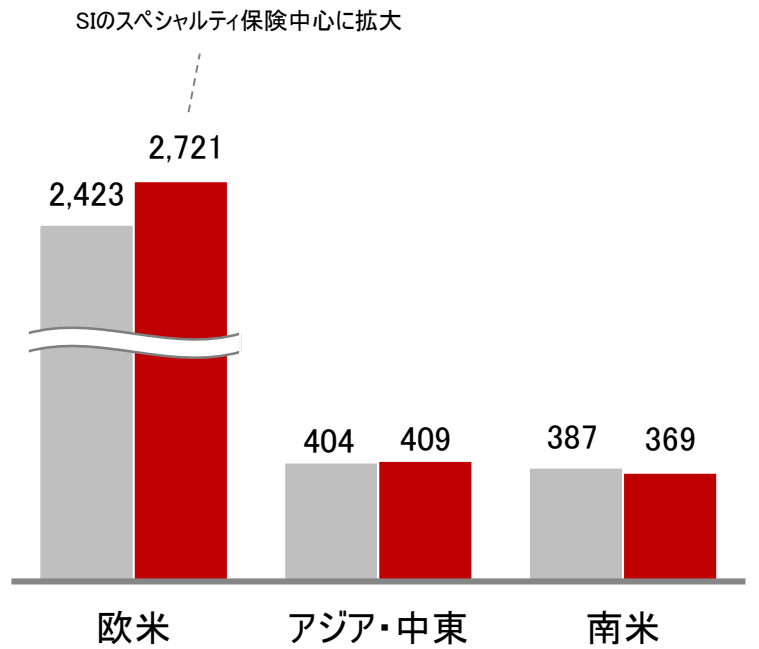
## 修正利益(地域別)

(億円)      ■ 2018年度中間期      ■ 2019年度中間期



## 収入保険料(地域別)

(億円)      ■ 2018年度中間期      ■ 2019年度中間期



# (参考)グループ会社別業績

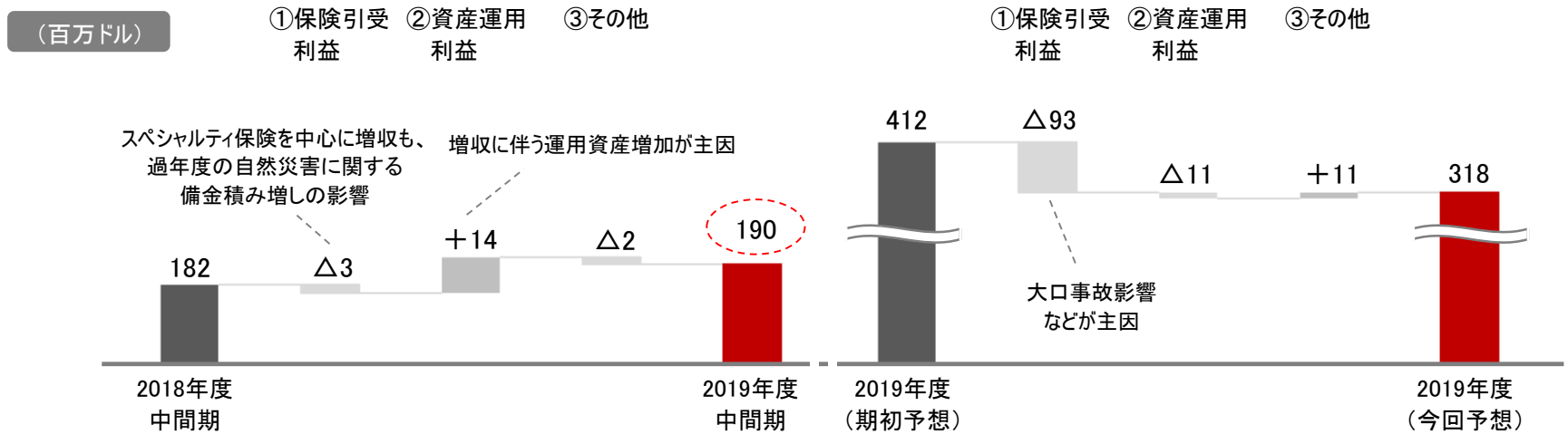
(単位: 億円)		収入保険料(2019年度)				修正利益(2019年度)				ポイント	(参考)為替レート
		中間期		通期予想		中間期		通期予想			2019年6月※2 (対前年為替影響)
		実績	増減	期初	今回	実績	増減	期初	今回		
欧米	SI	2,721	+297	4,306	4,175	205	+4	457	343	※P32、P33ご参照	107.79 円/米ドル (△2.5%)
アジア・中東	Sompoシゴルタ(トルコ)	177	+2	343	329	42	+6	71	68	トップラインは、自動車・火災保険がけん引、運用収益も好調に推移し、修正利益は概ね順調	18.69 円/リラ (△22.3%)
	Sompoシンガポール	39	+1	79	75	1	△1	6	2	自動車保険中心に損害率が悪化	79.68 円/SGドル (△1.4%)
	ベルジャヤソンポ(マレーシア)	73	+3	152	148	7	+1	14	13	—	26.02 円/リンギット (△4.8%)
	Sompoインドネシア	23	△8	98	87	2	+1	5	5	—	0.0077 円/ルピア (-)
	Sompo中国NK中国	30	+1	55	60	7	△1	4	7	損害率が改善	15.69 円/人民元 (△5.8%)
	Sompo香港	18	△1	35	31	1	△1	4	2	大口事故影響	13.79 円/香港ドル (△2.1%)
	ユニバーサルソンポ(インド)	29	+7	84	80	2	△0	3	3	—	1.54 円/ルピー (△2.5%)
南米	Sompoセグロス(ブラジル)	369	△18	892	797	2	△4	20	18	自動車保険中心にトップラインは概ね計画どおり推移した一方、大口事故などの影響あり	28.22 円/リアル (△1.4%)
上記以外(非連結)※1		17	△1	30	36	4	+1	2	3	—	—
合計		3,500	+284	6,079	5,823	277	+5	590	470	—	—

※1 Sompoタイランド、PGAソンポ(フィリピン)、ユナイテッドインシュアランス(ベトナム)の合計

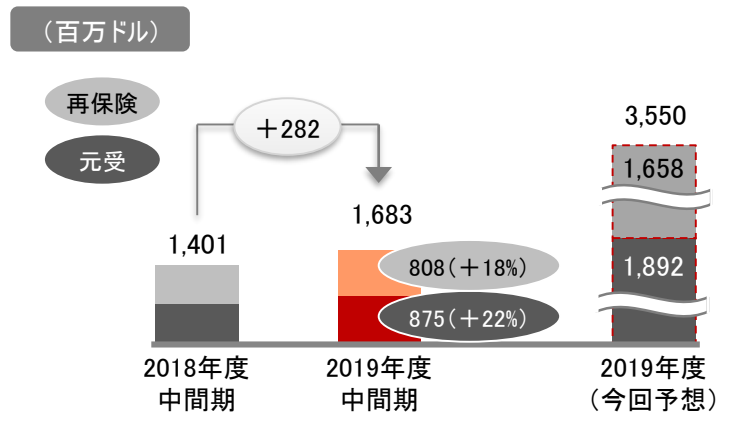
※2 ユニバーサルソンポの為替レートは2019年9月末時点、通期業績予想(今回予想)における前提為替レートは2019年9月末時点を使用



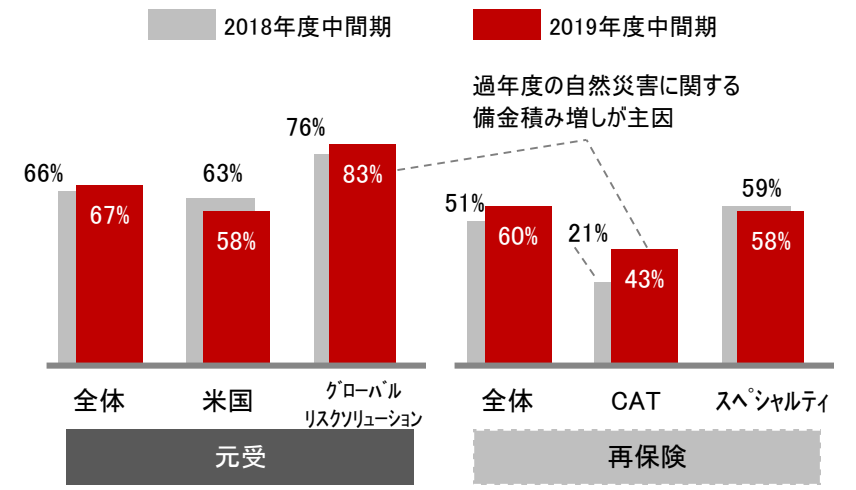
## 修正利益の増減要因



## 既経過保険料の推移



## 主要セグメント別損害率



## (参考)SI業績概況②

(百万ドル)	2018年度	2019年度中間期	2019年度		
	(実績)	(実績)	(今回予想)		
			対前年増減	対前年増減	
グロス保険料	5,960	4,324	+509	+720	→ 順調なレートアップが主因
正味保険料	3,319	2,524	+332	+549	
既経過保険料	3,086	1,683	+282	+464	
発生保険金	2,114	1,070	+245	+233	
事業費	952	501	+41	+110	
損害率※1	68.5%	63.6%	+4.7pt	△2.4pt	→ 前年度の自然災害に関する備金積み増しが主因
事業费率※1	30.9%	29.8%	△3.0pt	△0.9pt	→ 手数料率、社费率ともに改善
コンバインド・レシオ※1	99.4%	93.4%	+1.7pt	△3.3pt	
保険引受利益	24	114	△3	+126	
資産運用利益	244	152	+14	+44	
その他損益	△175	188	+293	+380	→ 有価証券未実現益の増加影響が主因
当期純利益	72	397	+273	+495	
(参考) (+) 為替損益	△15	△4	+3	△5	+9
(参考) (+) 有価証券売却・減損損失等※2	123	△233	△303	△280	△404
(参考) (+) 税効果	△1	30	+34	37	+39
(参考) (+) その他	-	-	-	-	-
修正利益	177	190	+8	318	+140

※1 損害率、事業费率、コンバインド・レシオ算出における分母は既経過保険料

※2 未実現損益を含む

(参考) 農業保険既経過保険料の認識タイミング(季節性イメージ)

1Q:10~15% 2Q:25~30% 3Q:30~35% 4Q:25~30%

---

1. 連結業績

---

2. 国内損保事業

---

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

---

6. ERM・資産運用

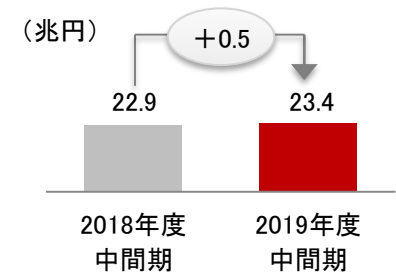
- ◆ 保障性商品を中心とした保有拡大により、保険料等収入が拡大
- ◆ 当期純利益は94億円と、通期業績予想:160億円に対して順調に進捗

## 主要業績

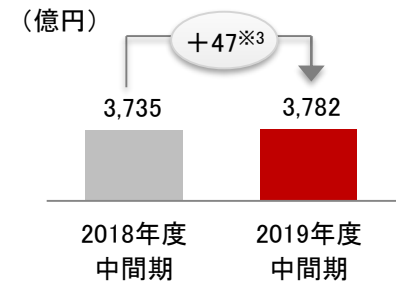
(単位:億円)	2018年度 中間期	2019年度 中間期	増減		2019年度 (今回予想)
新契約年換算保険料	179	120	△58	(△32.8%)	280
保険料等収入※1	2,160	2,177	+16	(+0.8%)	4,470
保険金等支払	325	349	+24	(+7.6%)	714
事業費	450	421	△28	(△6.3%)	923
資産運用損益	230	227	△3	(△1.3%)	455
(うち一般勘定)	216	225	+9	(+4.2%)	451
基礎利益	166	160	△6	(△3.7%)	301
経常利益※1	154	158	+4	(+2.7%)	283
当期純利益	94	94	+0	(+0.1%)	160
修正利益	177	171	△5	(△3.1%)	340

※1 法令に則った生命保険会社の様式に基づく数値(連結様式とは異なる)

(参考)保有契約高※2



(参考)保有契約年換算保険料※2

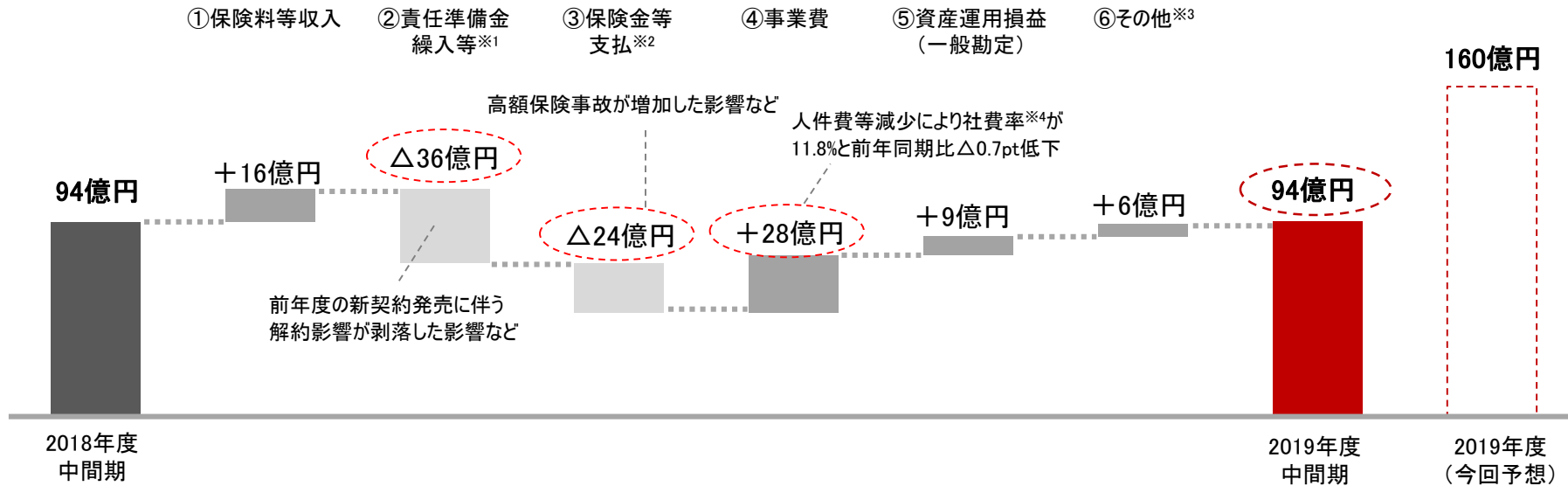


※2 個人保険と個人年金保険の合計

※3 うち保障性商品+66億円

## ◆ 事業費効率化が寄与し、当期純利益の通期予想対比の進捗率は59%

### 当期純利益の増減要因



	①保険料等収入	②責任準備金繰入等	③保険金等支払	④事業費	⑤資産運用損益(一般勘定)	⑥その他	当期純利益
2018年度中間期	2,160億円	△1,435億円	△325億円	△450億円	216億円	△71億円	94億円
<b>2019年度中間期</b>	<b>2,177億円</b>	<b>△1,471億円</b>	<b>△349億円</b>	<b>△421億円</b>	<b>225億円</b>	<b>△64億円</b>	<b>94億円</b>
2019年度(今回予想)	4,470億円	△2,977億円	△714億円	△923億円	451億円	△146億円	160億円

※1 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響および特別勘定の資産運用損益を含む

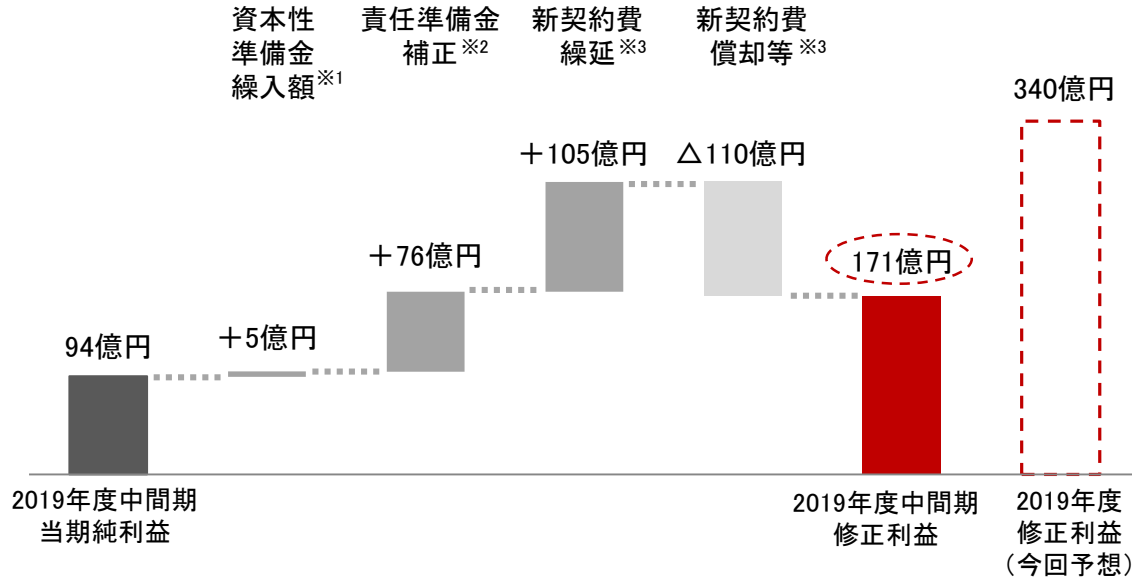
※2 保険金備金(除く満期保険金備金)、給付金備金(除く生存給付金備金)繰入取崩影響を含む

※3 その他経常費用、特別損益、契約者配当準備金繰入、法人税等の合計

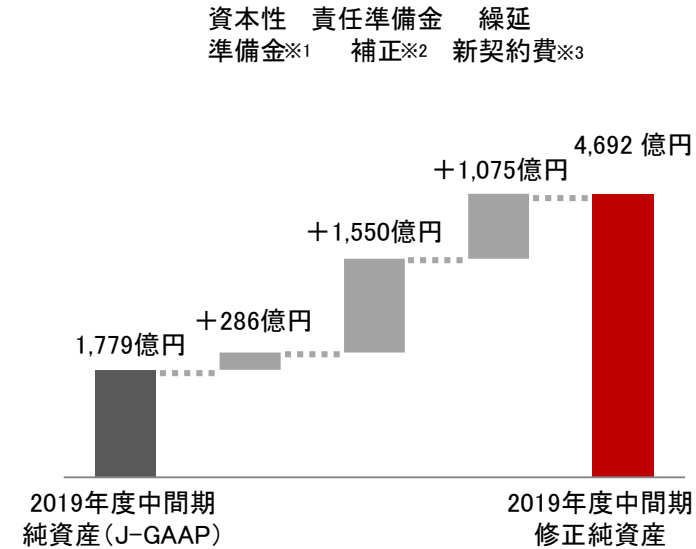
※4 一般管理費÷保険料収入

◆ 修正利益は171億円と、通期業績予想: 340億円に対して概ね順調に進捗

## 当期純利益から修正利益へのコンバージョン



## (参考) 修正純資産



※1 危険準備金、価格変動準備金(税引後)

※2 保守的に計算している責任準備金を保険料計算に用いる基礎率により再計算(税引後)

※3 契約初年度に発生する募集手数料等の新契約費を10年間で償却(税引後)

---

1. 連結業績

---

2. 国内損保事業

---

3. 海外保険事業

---

4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

6. ERM・資産運用

- ◆ 入居率は引き続き改善
- ◆ 介護事業の修正利益は+3億円増益と計画どおり進捗

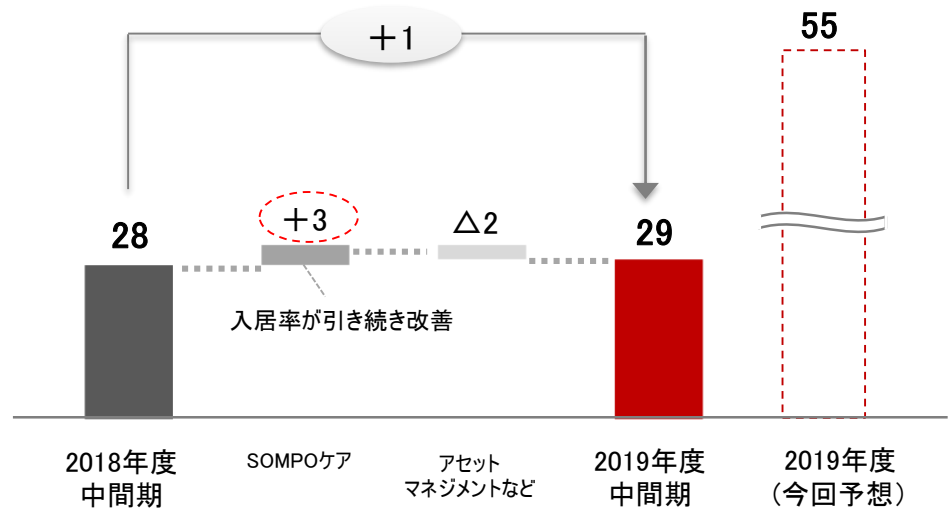
## 介護事業(SOMPOケア)の業績

(単位:億円)	2019年度 中間期		2019年度
	(実績)	(増減)	(今回予想)
売上高(経常収益)	633	+14	1,278
修正利益	25	+3	43
入居率※1			
(そんぼの家)	93.0%	+1.4pt	93.2%
(そんぼの家S)	94.0%	+2.1pt	93.3%
(ラヴィーレ)	88.7%	+2.9pt	90.0%

※1 入居率 = 入居者数 ÷ 施設定員数  
 なお、そんぼの家は旧SOMPOケアの介護付きホーム、  
 そんぼの家Sは同社のサービス付き高齢者向け住宅、  
 ラヴィーレは旧SOMPOケアネクストの介護付きホームを示すブランド名

## 介護・ヘルスケア事業等※2の修正利益

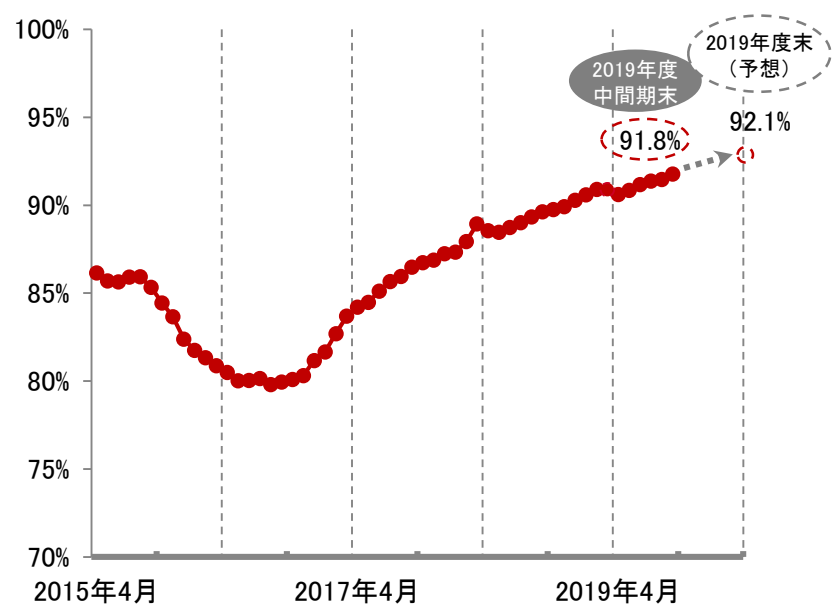
(単位:億円)



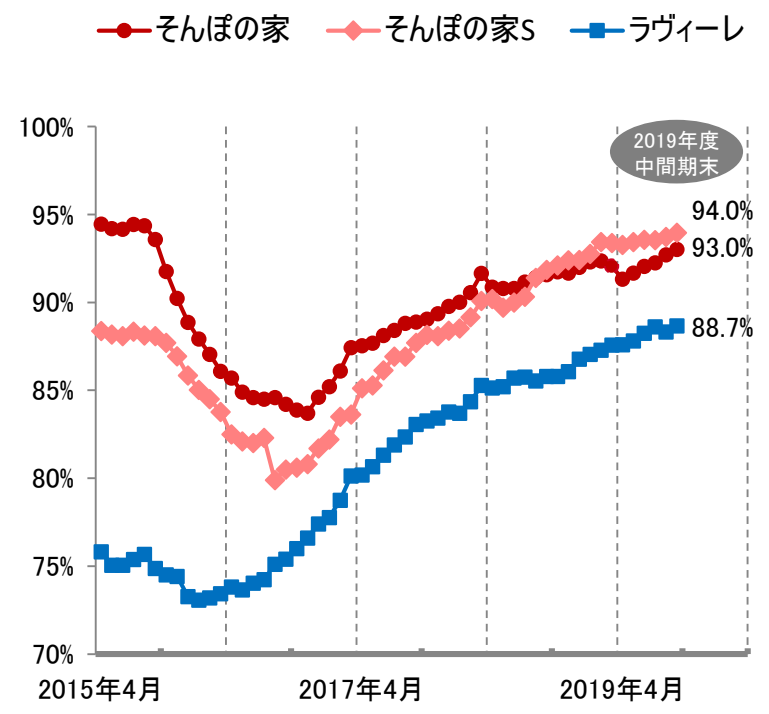
※2 介護・ヘルスケア事業等は、SOMPOケア、アセットマネジメントなどの合計



## 入居率\*の推移



## (参考)ブランド別入居率の推移



※ 旧SOMPOケア・旧SOMPOケアネクストの入居率を統合して記載

---

1. 連結業績

---

2. 国内損保事業

---

3. 海外保険事業

---

4. 国内生保事業

---

5. 介護・ヘルスケア事業等

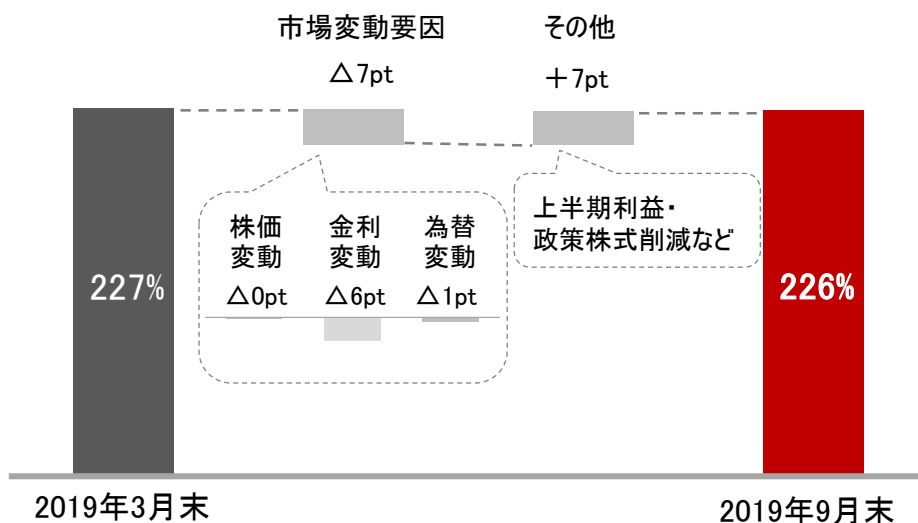
---

6. ERM・資産運用

# 財務健全性: ESR(99.5%VaR)

◆ 2019年9月末のESR(99.5%VaR)は、226%とターゲット資本水準を維持

## ESR(99.5%VaR)<sup>※1</sup>の推移



※1 ソルベンシー II に準拠した算出方法

ESR(99.5%VaR)におけるターゲット資本水準は、概ね180%~250%

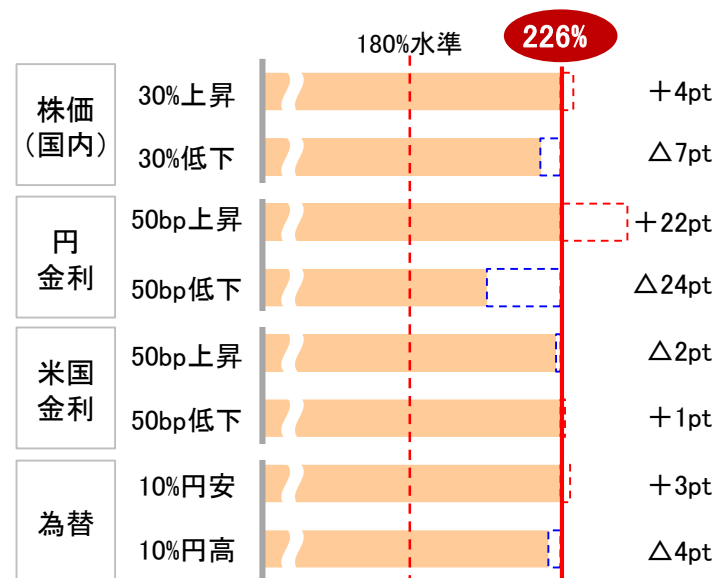
250%水準: 資本効率(ROE)の観点を踏まえた水準

180%水準: ストレステストの結果などを踏まえ、  
財務健全性を安定的に確保可能な水準

恒常的にターゲットレンジ外の水準となる場合の代表的な対応

- 【250%超】追加的リスクテイク(成長投資機会)の検討、自己株式取得等による株主還元拡充など
- 【180%未満】各種リスク削減策の実施、ハイブリッド債等による資本増強の検討、内部留保強化など

## ESR(99.5%VaR)の感応度分析



(参考)市場環境

	2019年9月末	(増減 <sup>※2</sup> )
国内株価(日経平均株価)	21,755円	(+2.6%)
国内金利(30年物国債利回り)	0.37%	(△13bp)
米国金利	1.66%	(△74bp)
為替(米ドル円レート)	107.92円	(△2.8%)

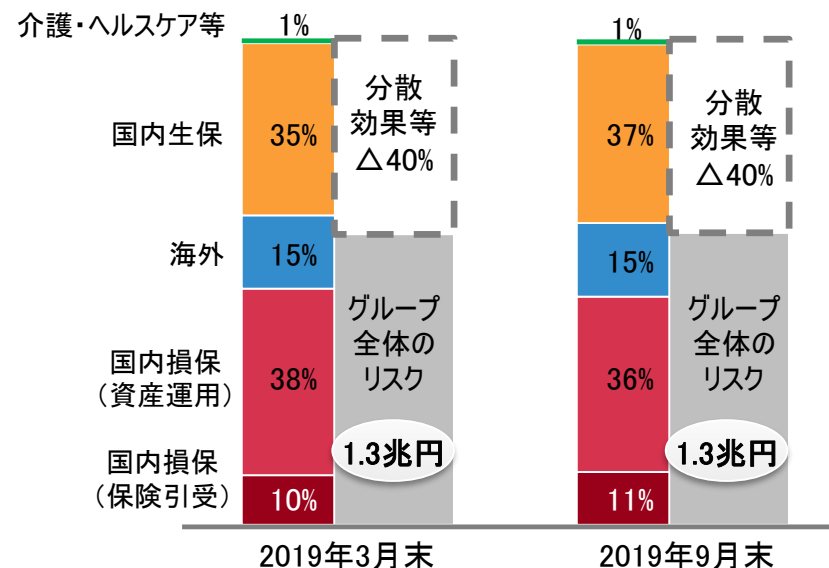
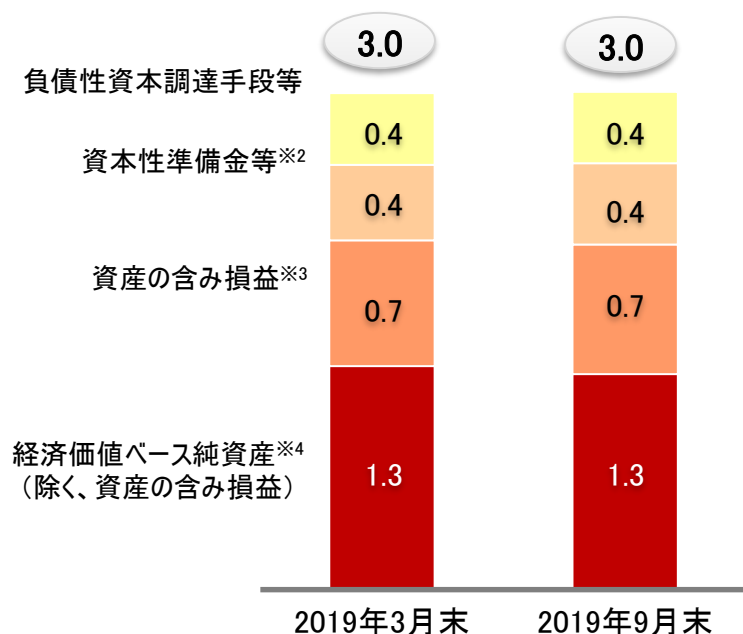
※2 2019年3月末対比

# (参考)実質自己資本・リスク量のブレイクダウン

## 実質自己資本※1

## リスク量※5

(兆円)



※1 実質自己資本＝単体BS純資産合計額＋保有契約価値－のれん等＋時価評価しない資産の含み損益＋資本性準備金等＋負債性資本調達手段等

※2 価格変動準備金、異常危険準備金など(税引後)

※3 時価評価しない資産を含めた有価証券等の含み損益

※4 単体BS純資産合計額に生損保の保有契約価値などを加算(のれんや非支配株主持分等は控除)

※5 リスク量は保有期間1年、99.5%VaRで計測

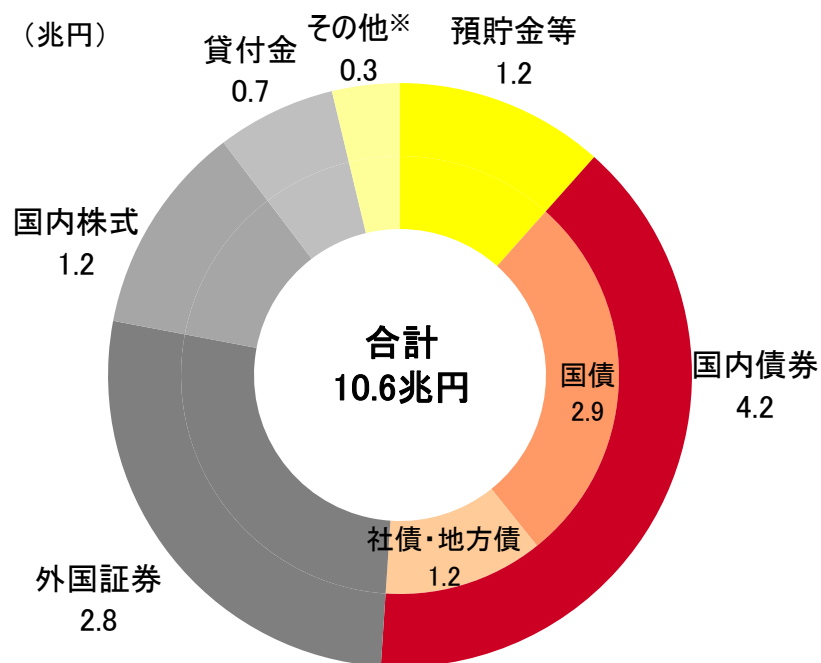
事業毎のリスク量: 事業間のリスク分散効果控除前(税引前)

グループ全体のリスク: 事業毎のリスク量合計－分散効果－税効果

# 資産ポートフォリオ(グループベース)

◆ 負債特性や流動性・安全性などを踏まえ、債券を中心とした安定的なポートフォリオを構築

## 運用資産額(2019年9月末 グループ連結ベース)



## グループ会社別運用資産額

(単位: 億円)

	運用資産額	構成比
損保ジャパン日本興亜	56,376	53.0%
海外グループ会社	14,311	13.4%
(うちSI)	(11,881)	(11.2%)
ひまわり生命(一般勘定)	34,103	32.0%
セゾン自動車火災	631	0.6%
国内その他	1,016	1.0%
<b>合計</b>	<b>106,439</b>	<b>100%</b>

※ “その他”は土地・建物、非連結子会社株式など

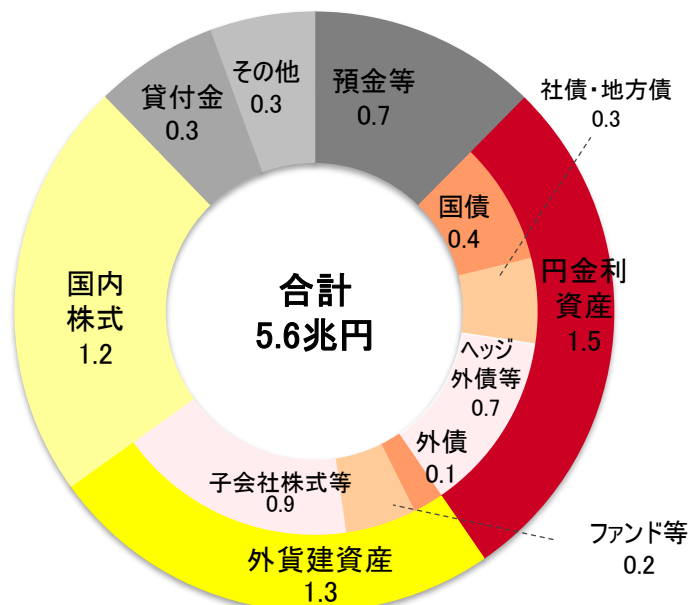
# 資産ポートフォリオ(損保ジャパン日本興亜)

◆ 政策株式の削減、分散投資の推進を基本とするポートフォリオマネジメントを継続

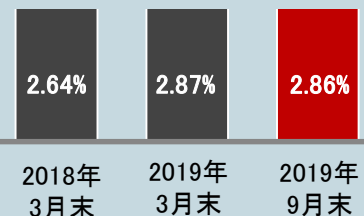
## 運用資産額(2019年9月末 損保ジャパン日本興亜単体ベース)

### 【一般勘定】

(兆円)



### インカム利回り(一般勘定)<sup>※1</sup>の推移



### 格付別構成比<sup>※2</sup>

社内格付	構成比
BBB格以上	100%
BB格以下	0%

### デレション(年)

	2019年 3月末	2019年 9月末
資産	7.8	8.1
負債	8.5	8.6

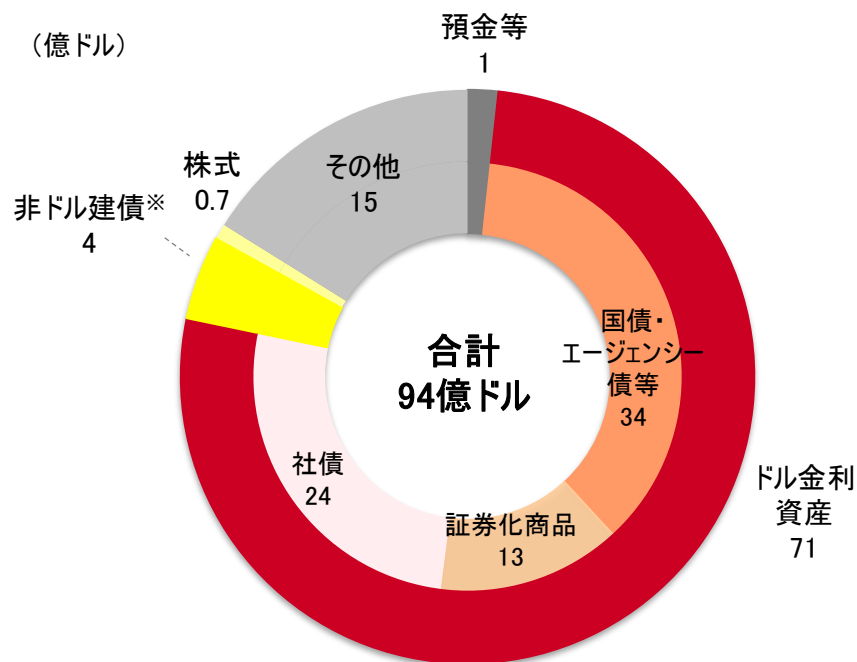
※1 海外グループ会社株式等を除く

※2 円金利資産、外貨建債券の合計

# 資産ポートフォリオ(SI)

◆ ドル金利資産への投資をベースとしつつ、負債特性を踏まえ、流動性・安全性を重視した運用を継続

## 運用資産額(2019年6月末 SI連結ベース)



### 格付別構成比

格付	構成比
BBB格以上	92%
BB格以下	8%

### デュレーション(年)

	2018年 12月末	2019年 6月末
資産	3.2	2.8
負債	2.9	3.0

(参考)2019年6月末のインカム利回り(一部ファンドの未実現損益等の変動を含む)は2.81%

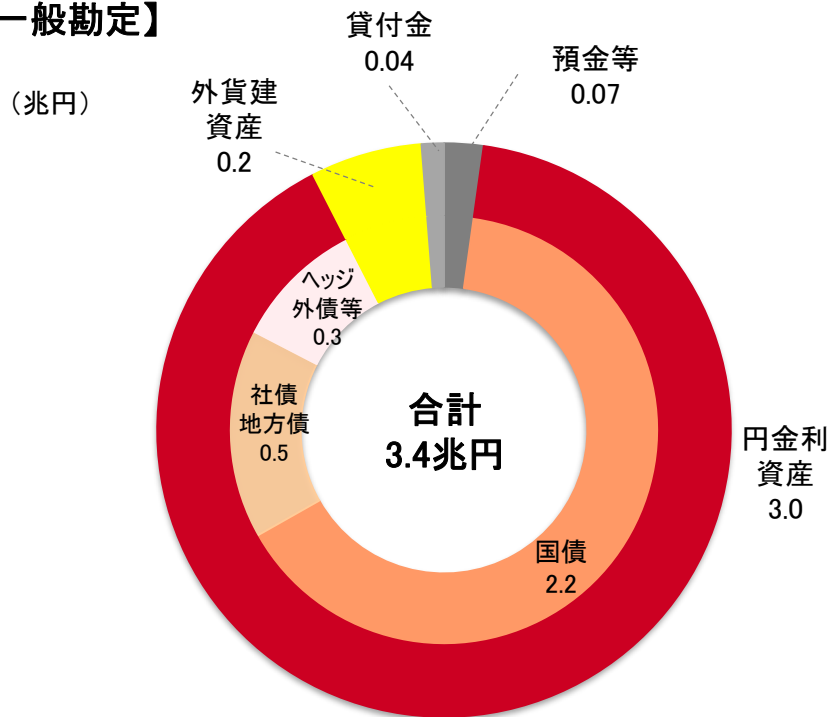
※ 一部預金含む

# 資産ポートフォリオ(ひまわり生命)

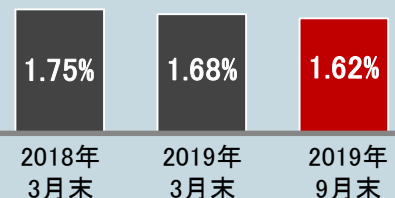
- ◆ 円金利資産を中心としたALM重視のポートフォリオを構築
- ◆ 国内の低金利環境を踏まえ、社債投資等への配分を若干拡大

## 運用資産額(2019年9月末 ひまわり生命単体ベース)

### 【一般勘定】



### インカム利回り(一般勘定)の推移



### 格付別構成比\*

社内格付	構成比
BBB格以上	100%
BB格以下	-

### デュレーション(年)

	2019年 3月末	2019年 9月末
資産	14	14
負債	25	26

(参考)2019年9月末の特別勘定の残高:227億円(主に国内株式・債券で運用)

※ 円金利資産、外貨建債券の合計



## 将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

### 【お問い合わせ先】



**SOMPOホールディングス株式会社**

**経営企画部 IR・ファイナンス室**

電話番号 : 03-3349-3913

email : [ir@sompo-hd.com](mailto:ir@sompo-hd.com)

URL : <https://www.sompo-hd.com/>